

D ドライブライン / アクスル

RFD リヤファイナルドライブ

作業上の注意	2	・取り外し、取り付け	10
・注意	2	・分解図	11
準備品	3	・分解前の点検	12
・特殊工具	3	・分解、組み立て	14
オイル	6	サービスデータ	37
・交換	6	・ドライブギヤ振れ	37
・点検	6	・サイドギヤクリアランス調整	37
フロントオイルシール	7	・ドライブピニオンハイト調整	38
・取り外し、取り付け	7	・ドライブピニオンプリロード調整	38
サイドオイルシール	8	・サイドベアリングプリロード調整	38
・取り外し、取り付け	8	・トータルプリロード調整	38
リヤファイナルドライブ ASSY	10		

A

B

C

RFD

E

F

G

H

I

J

K

L

作業上の注意 注意

PPF:00001

JDS002KN

- 整備車両の故障現象を十分把握した上で故障診断を確実にし、系統だてた正しい作業を行う。
- 取り外し又は分解作業をする場合、あらかじめ正規の取付状態を確認しておく。必要に応じて機能に影響のない部位に合いマークを付ける。
- 分解作業は清潔な場所で行い、できれば防じん室での作業が望ましい。
- 分解前にスチーム、ホワイトガソリンなどでユニット外部に付着している砂及び泥などをよく洗浄し、分解及び組み付け時に内部に入らないようにする。
- 分解した各部品は必ず外観に損傷、変形、異常摩耗がないことを確認し、不具合がある場合は新品と交換する。
- ロックピン、オイルシール、ベアリングは原則として分解ごとに新品と交換する。
- 部品を交換する場合は、日産純正品を使用する。
- ボルト、ナットの締め付けは、原則として中心より外側に対角線方向へ 2 ~ 3 回に分けて徐々に締め付け、特に順序を規定している箇所はその指示に従う。
- 各部品は十分に洗浄、清掃しエアブローをする。
- しゅう動面、合わせ面には傷を付けないよう注意する。
- シール剤を塗布面及び取り付け面に付着した水分、油分、異物などは除去すること。
- 内部の構成部品の洗浄は必ずペーパーウエスを使用する。
- 綿手袋及びウエスなどは糸クズの混入防止のため使用しないこと。
- 組み付け時は規定トルクを遵守し、各部品には必ず車両毎に指定された新しいニッサンデフオイル又はワセリン、ニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布しながら行う。
- 抜き取ったオイルは使用しないこと。また、オイル交換後の廃油、部品の洗浄油などは、法令、条例などで定められた方法により処理すること。

準備品

準備品
特殊工具

PF0:00002

JDS0025A

A

B

C

RFD

E

F

G

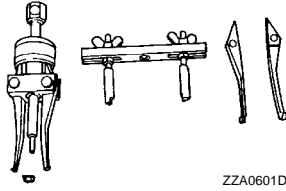
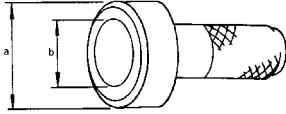
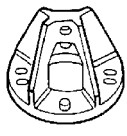

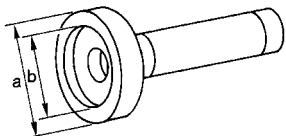
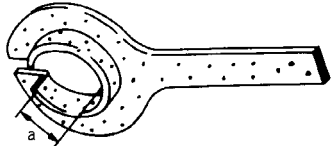
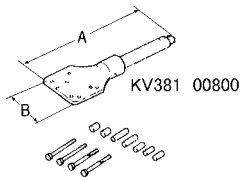
H

I

J

K

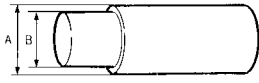
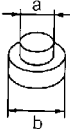
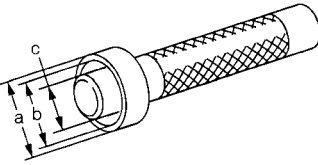
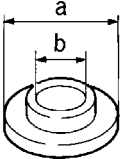
L

名称	用途
<p>オイルシールプラー ST3329 0001</p>  <p>ZZA0601D</p>	<p>ファイナルドライブオイルシール取り外し</p>
<p>ドリフト ST3072 0000 a : φ77mm b : φ55mm</p>  <p>ZZA0811D</p>	<p>ファイナルドライブフロントオイルシール取り付け</p>
<p>アタッチメント KV401 04100</p>  <p>ZZA0804D</p>	<p>ファイナルドライブサイドフランジ取り外し</p>
<p>スライディングハンマー ST3623 0000</p>  <p>ZZA0803D</p>	<p>ファイナルドライブサイドフランジ取り外し</p>
<p>ドリフト KV381 00200 a : φ65mm b : φ49mm</p>  <p>ZZA1143D</p>	<p>ファイナルドライブサイドオイルシール取り付け</p>
<p>プロテクター KV381 07800 a : φ29mm</p>  <p>ZZA0835D</p>	<p>ファイナルドライブサイドフランジ取り付け</p>
<p>アタッチメント KV381 00800 a : 541mm b : 200mm</p>  <p>SDIA0214J</p>	<p>ユニット ASSY 固定</p>

準備品

名称	用途
<p>カムプロケットレンチ KV101 09900 a : 100mm b : 54mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0802D</p>	<p>ドライブピニオンナット取り外し、取り付け</p>
<p>プーラーセット ST3306 S001</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0215J</p>	<p>サイドベアリング取り外し</p>
<p>プーラー ST3003 1000</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0700D</p>	<p>ドライブピニオンリヤベアリング取り外し</p>
<p>ドリフトバー ST3532 5000</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0216J</p>	<p>ドライブピニオンベアリングアウターレース取り付け</p>
<p>ドリフト ST3061 3000 A : φ72mm B : φ48mm ST3062 1000 A : φ79mm B : φ59mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0810D</p>	<p>ドライブピニオンベアリングアウターレース取り付け</p>
<p>ドリフト ST3090 1000 A : φ80mm B : φ45mm C : φ35mm</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0217J</p>	<p>ドライブピニオンリヤベアリング取り付け</p>
<p>サイドフランジ ダミー KV381 051S0</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0218J</p>	<p>サイドギヤ背面クリアランス点検</p>
<p>ピンポンチ KV311 00300</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0515D</p>	<p>ピニオンメートシャフトロックピン脱着</p>

準備品

名称	用途
<p>ドリフト ST3371 0000 A : φ30mm B : φ23mm</p>  <p style="text-align: right;">SDIA0219J</p>	<p>ドライブピニオン取り外し</p>
<p>ドリフト ST3306 1000 A : φ38mm B : φ28.5mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0969D</p>	<p>サイドベアリング取り付け</p>
<p>ドリフト ST3323 0000 A : φ51mm B : φ41mm C : φ28mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA1046D</p>	<p>サイドベアリング取り付け</p>
<p>ドリフト KV381 02200 A : φ90mm B : φ55.3mm</p>  <p style="text-align: right;">ZZA0920D</p>	<p>ドライブピニオンベアリングアウターレース取り付け</p>

A

B

C

RFD

E

F

G

H

I

J

K

L

オイル
交換

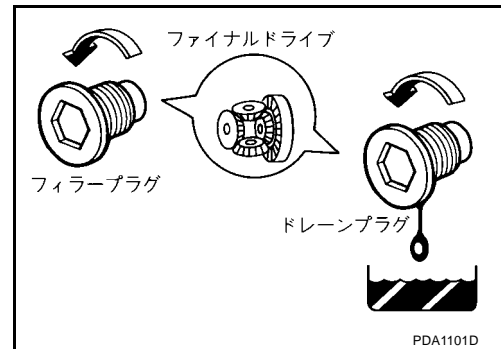
PF0:00024

JDS0025B

交換時期

- 自家用** : 分解整備時にのみ給油
 (シビアコンディション時: 60,000Km ごと)
事業用 : 100,000Km 又は 2年ごとのどちらか早い方

参考: シビアコンディション時とは、厳しい条件での走行(悪路、山道、登降坂道)が走行距離の30%以上の場合に該当する。



抜き取り

- ドレーンプラグを外し、デフォイルを抜き取る。
- ドレーンプラグにシール剤(スリーボンド 1215)を塗布し、ファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 30 ~ 39 N·m { 3.1 ~ 3.9 kg·m }

注入

- フィラープラグを外し、新品のデフォイルを給油する。

使用オイル
 : ニッサンデフォイルハイポイドスーパー GL-5 80W-90

オイル量 : 約 1.4 ℓ

- フィラープラグにシール剤(スリーボンド 1215)を塗布し、ファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 30 ~ 39 N·m { 3.1 ~ 3.9 kg·m }

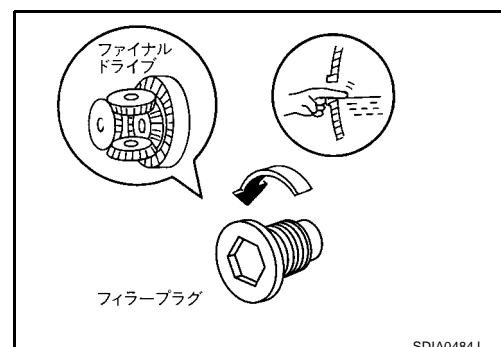
点検

JDS0025C

液漏れ及び油面高さ

- 漏れがないか、油面高さは適切か点検する。
- フィラープラグにシール剤(スリーボンド 1215)を塗布し、ファイナルドライブに取り付け、規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 30 ~ 39 N·m { 3.1 ~ 3.9 kg·m }



フロントオイルシール

PF3:38189

取り外し、取り付け

JDS0025D

取り外し

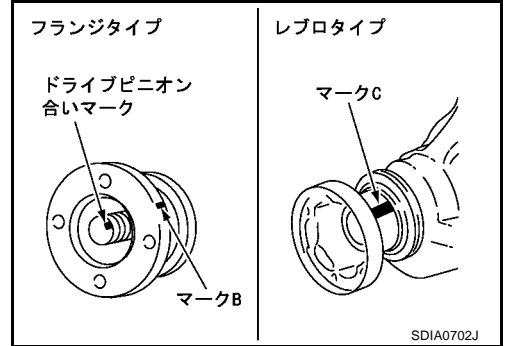
1. プロペラシャフトを取り外す。「PR プロペラシャフト」[「取り外し、取り付け」\(PR-2 ページ\)](#)を参照すること。

2. ファイナルドライブコンパニオンフランジのマーク B 位置に合わせて、ドライブピニオンのネジ部先端に合いマークを付ける。

注意: 合いマークはペイントなどを使用し、傷を付けないこと。

参考: • マーク B (フランジタイプ) 2WD 車 (VQ25DD 搭載車) は、コンパニオンフランジインローが回転中心に対して外側に振れる最大位置

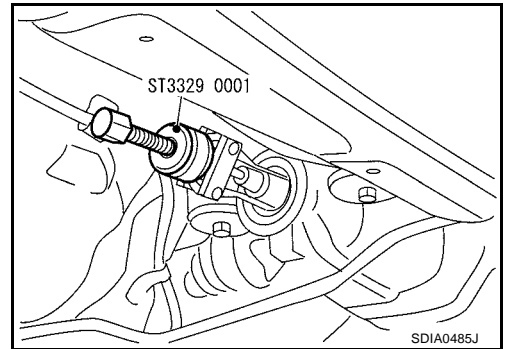
• マーク C (レプロタイプ) 4WD 車 (VQ30DD 搭載車)は、コンパニオンフランジアンバランスの最大位置



3. デフフランジツール (汎用工具) を用いて、ドライブピニオンナット取りを外す。

4. プーラー (汎用工具) を用いて、コンパニオンフランジを取り外す。

5. オイルシールプーラー (特殊工具) を用いて、オイルシールを取り外す。

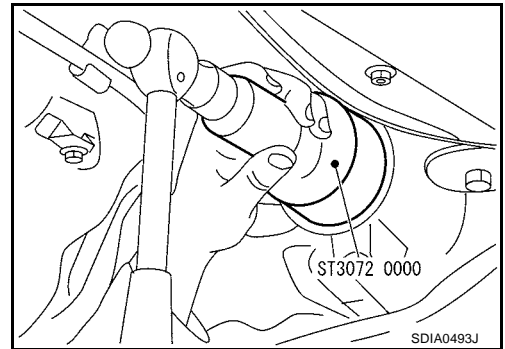


取り付け

1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布し、図のようにドリフト (特殊工具) を用いて、オイルシールを取り付ける。

注意: • オイルシールは傾かないように取り付けること。

• オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

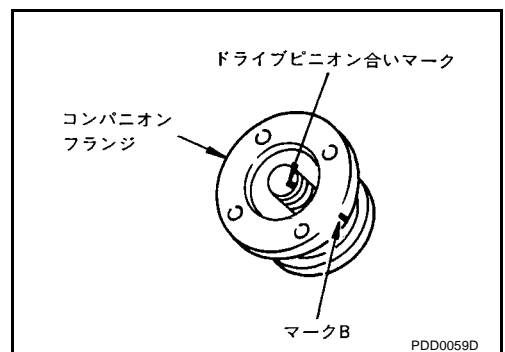


2. コンパニオンフランジの合いマーク B とドライブピニオンの合いマークを合わせてコンパニオンフランジを取り付ける。

3. ドライブピニオンのネジ部及びピニオンナット座面に防せい油を塗り、ピニオンナットを取り付け、デフフランジツール (汎用工具) を用いて、規定トルクで締め付ける。

締め付トルク : 147 ~ 323N・m { 15 ~ 33kg・m }

4. プロペラシャフトを取り付ける。「PR プロペラシャフト」[「取り外し、取り付け」\(PR-2 ページ\)](#)を参照すること。



サイドオイルシール
取り外し、取り付け

PF3:38343

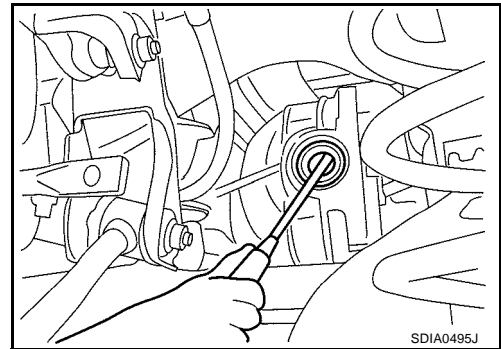
JDS0025E

取り外し

1. サイドフランジは、圧入のため下記の要領で取り外す。
 - a. 車輪回転センサーを取り外す。「[車輪回転センサー](#)」(BRC-27 ページ) を参照すること。
 - b. ドライブシャフトを取り外す。
 - c. アタッチメント (特殊工具 : KV401 04100) をサイドフランジにセットし、スライディングハンマー (特殊工具 : ST3623 0000) を用いてサイドフランジを抜き取る。

型式	サークリップ取付位置			
R200 <強化型>	ファイナルドライブ側			
R200V <強化型>	右側	ファイナルドライブ側	左側	サイドフランジ

2. オイルシールをマイナスドライバーを用いて取り外す。

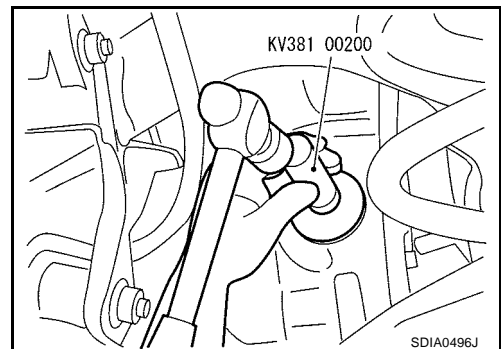


取り付け

注意: R200V<強化型>のサイドフランジは必ず右側から取り付けること。(左から取り付けると右側挿入時の衝撃により、左サイドフランジのかん合が外れることがあるため)

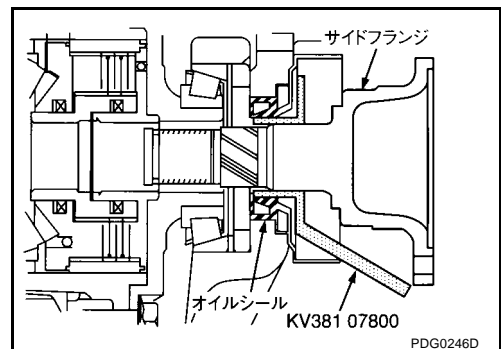
1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布する。
2. ドリフト (特殊工具) を用いて、ケース端面と面一になるようにオイルシールを取り付ける。

- 注意:**
- オイルシールは傾かないように取り付けること。
 - オイルシールは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



3. サイドフランジを下記の要領で取り付ける。

- a. サイドオイルシール部にプロテクター (特殊工具) を取り付ける。
- b. サイドフランジを挿入し、フランジのセレーション部をサイドギヤセレーション部にかみ合わせた後、プロテクター (特殊工具) を取り外す。



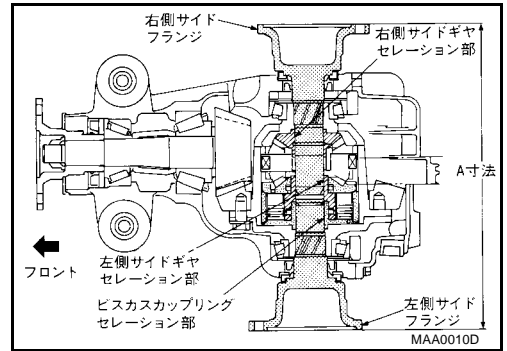
サイドオイルシール

- c. エクステンションバーをサイドフランジの中心に当てがい、音が変化するまで打ち込む。

参考：• フランジセレーション部のサークリップに、ニッサン MP スペシャルグリース No.2 を塗布し、サークリップの片寄りをなくしてから取り付けると作業性が良い。

- サイドフランジ打ち込み音は、完全取付状態になると、ファイナルドライブ全体に響くような音となる。

4. 図のサイドフランジ取付寸法 (A 寸法) が、下記となっていることを確認し、ドライブシャフトを取り付ける。



A 寸法 : 約 327±1mm

A

B

C

RFD

E

F

G

H

I

J

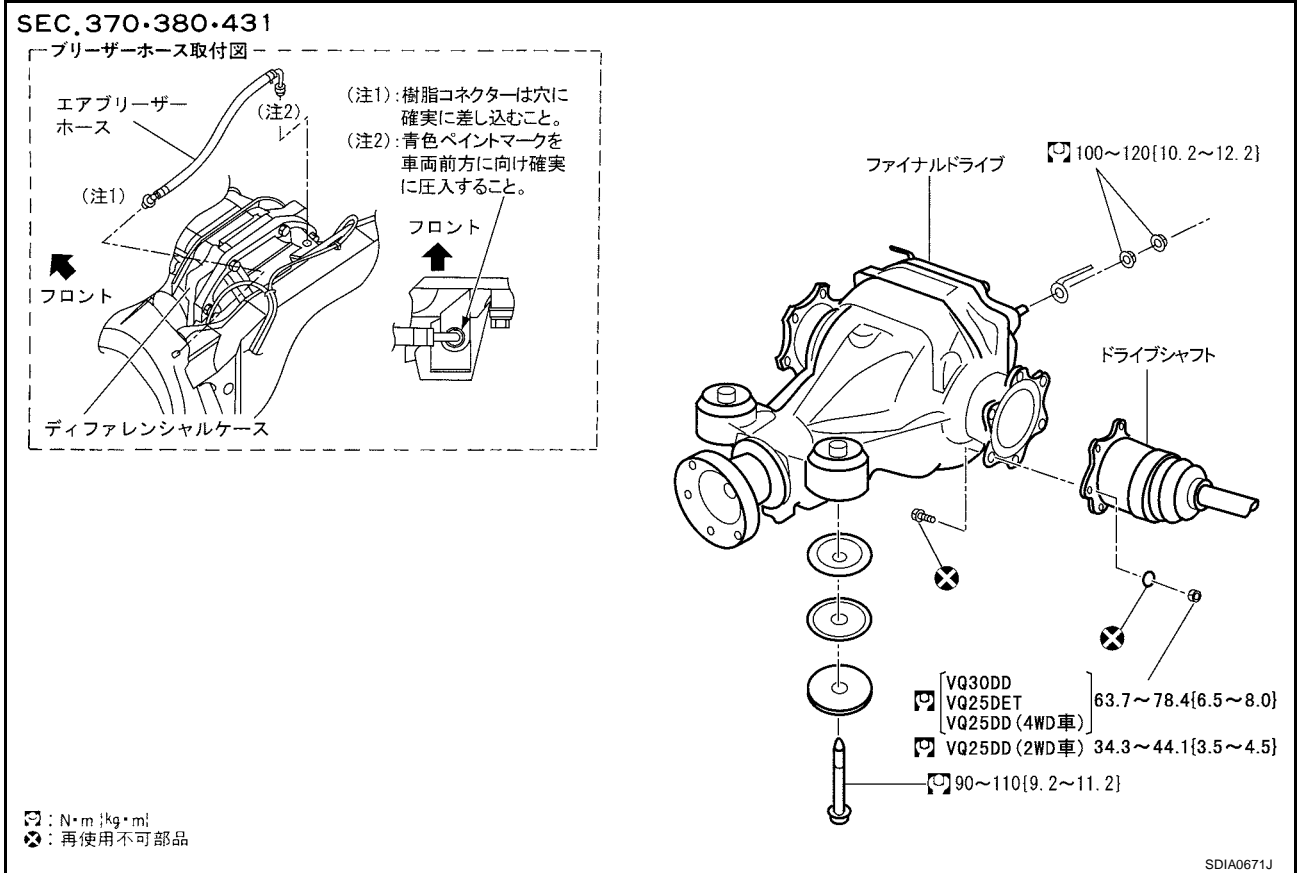
K

L

リヤファイナルドライブ ASSY

取り外し、取り付け

JDS0025F



取り外し

1. センターマフラーを取り外す。
2. リヤスタビライザーを取り外す。
3. プロペラシャフトをファイナルドライブより取り外す。
「PR プロペラシャフト」 「[取り外し、取り付け](#)」 (PR-6 ページ) を参照すること。
4. ドライブシャフトをファイナルドライブより取り外す。
「RAX リヤアクスル・ドライブシャフト」 「[取り外し、取り付け](#)」 (RAX-8 ページ) を参照すること。
5. エアブリーザーホースをファイナルドライブより取り外す。
6. 車輪回転センサーを取り外す。
「[車輪回転センサー](#)」 (BRC-27 ページ) を参照すること。
7. ファイナルドライブにミッションジャッキをセットする。
注意: ミッションジャッキをセットする場合はリヤカバー部 (アルミケース) を避けること。
8. 取付ボルト及びナットを外し、車両よりファイナルドライブを取り外す。

取り付け

取り外しの逆の手順で行う。

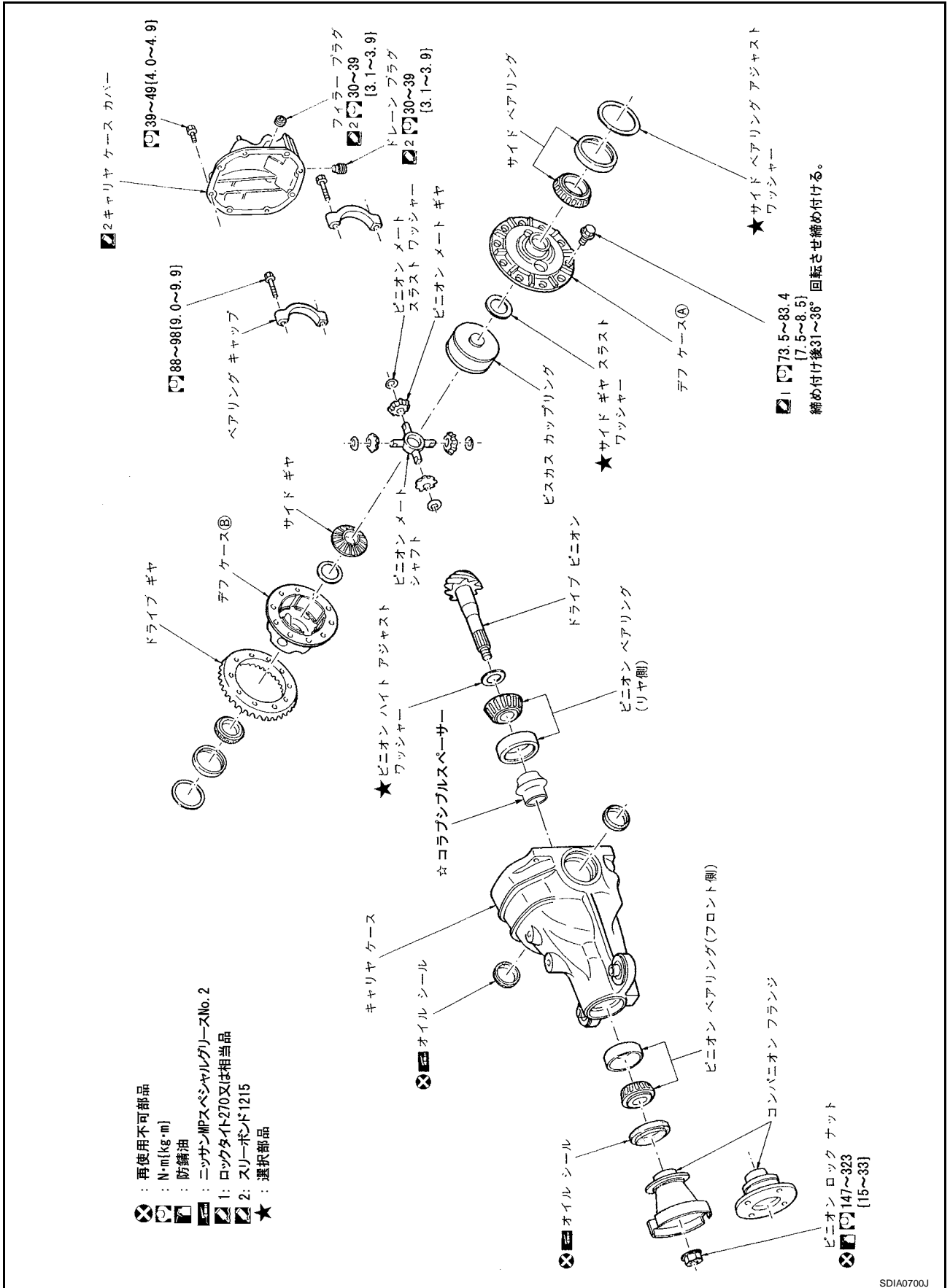
注意: 取り付け後、パーキングブレーキの調整及びファイナルドライブのオイル量点検を行うこと。

リヤファイナルドライブ ASSY

分解図

JDS0025G

R200V 型 (ビスカスカップリング LSD 付き)



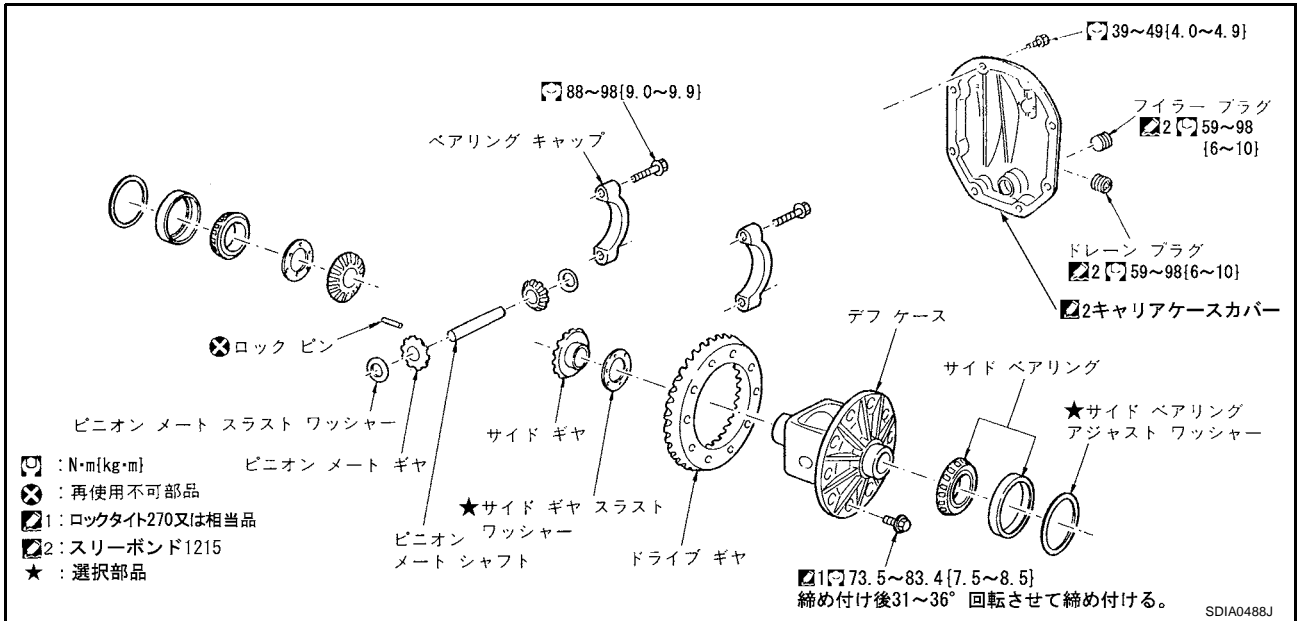
- ⊗ : 再使用不可部品
- ⊙ : N・m(kg・m)
- ⊠ : 防錆油
- ④ : ニッサン NPスベシヤルグリースNo.2
- ⑤ : ロックタイト270又は相当品
- ① : スリーボンド1215
- ② : 選択部品
- ★ : 選択部品

SDIA0700J

A
B
C
RFD
E
F
G
H
I
J
K
L

リヤファイナルドライブ ASSY

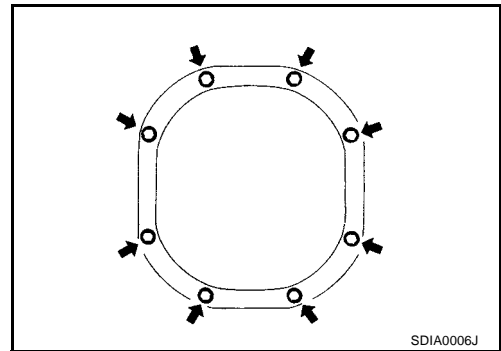
R200 型 (2 ピニオン)



分解前の点検

JDS0025H

1. ユニット ASSY をアタッチメント (特殊工具) に固定する。
2. ギヤオイルを抜く。
3. キャリアケースカバーを外す。
注意: キャリアケース不良の場合、ユニット ASSY の交換となる。



トータルプリロード

- コンパニオンフランジを 20 回以上回転させ、プリロードゲージを使用して、トータルプリロードを測定する。

トータルプリロード基準値

: 2.85 ~ 3.75N·m { 0.29 ~ 0.383kg·m }

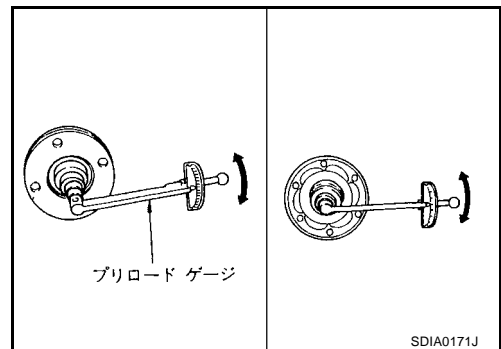
- プリロードが基準値を外れる場合、ピニオンベアリングのプリロード及びサイドベアリングのプリロードを調整する。

プリロードが大きい場合 :

- コラプシブルスパーサーを交換する。
- サイドベアリングのワッシャーを薄くする。

プリロードが小さい場合 :

- ピニオンナットを締め込む。
- サイドベアリングのワッシャーを厚くする。



ドライブギヤバックラッシュ

- ダイアルゲージをドライブギヤのフェース部にセットし、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ基準値 : 0.10 ~ 0.15mm

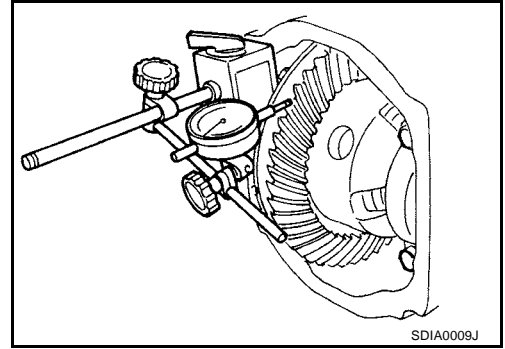
- バックラッシュが基準値を外れる場合、サイドベアリングワッシャーの厚さを移動させて調整する。

バックラッシュが大きい場合

: ドライブギヤ背面側ワッシャーの厚さを増し、ドライブギヤ歯面側ワッシャーの厚さを減らす。

バックラッシュが小さい場合

: ドライブギヤ背面側ワッシャーの厚さを減らし、ドライブギヤ歯面側ワッシャーの厚さを増す。

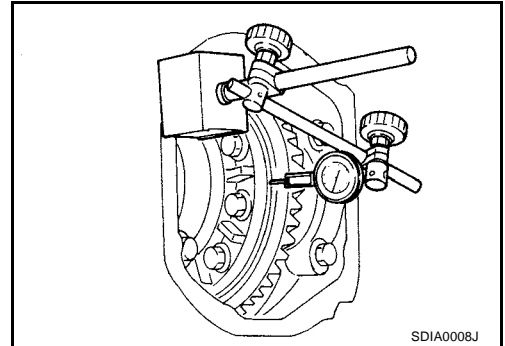


ドライブギヤ振れ

- テストインジケータをドライブギヤの背面にセットし、ドライブギヤを回転させて、振れを測定する。

振れ限度値 : 0.05mm 以下

- 振れが限度値を外れる場合、ドライブギヤの組付状態 (ドライブギヤとデフケースの間の異物かみ込み及びデフケースの変形、ドライブギヤの変形等) を点検する。
- ドライブギヤの変形はハイポイドギヤ ASSY で、デフケースの変形はデフケースを交換する。



コンパニオンフランジ振れ

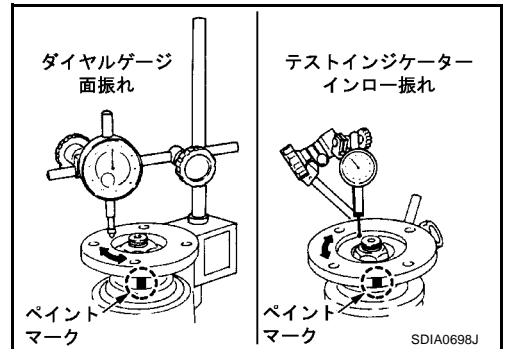
- ダイアルゲージをコンパニオンフランジ側面にセットし、面振れを測定する。2WD 車 (VQ25DD 搭載車) のみ

面振れ限度値 : 0.08mm 以下

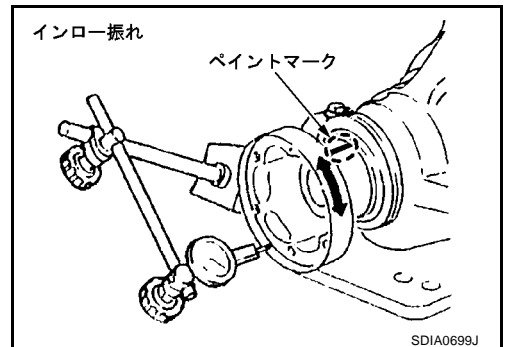
- テストインジケータをコンパニオンフランジ内側 (インロー径) にセットし、インロー振れを測定する。

インロー振れ限度値 : 0.08mm 以下

注意: 測定面に錆がある場合、良く落としてから測定する。



- 振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジとドライブピニオンの位相を 90° ずつずらし、振れの最小値を探す。
- 位相を変えても振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジを交換する。
- コンパニオンフランジを交換しても振れが限度値を外れる場合、ピニオンベアリングとドライブピニオンの組付不良及びピニオンベアリングの不良が考えられる。



リヤファイナルドライブ ASSY

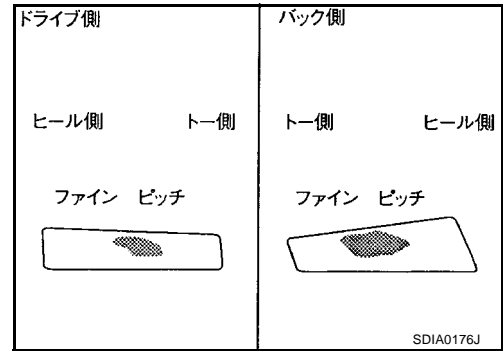
歯当たり

- ドライブギヤの歯面両面 4 箇所、ダイカトール PL-1 を薄く塗り、ハイポイドギヤを回転させて、歯当りを点検する。
- 歯当りは、ドライブ側(加速側)、バック側(減速側)両方点検する。
注意: 歯当たり状態の詳細については、「[ハイポイドギヤ歯当たり及びバックラッシュ点検](#)」(RFD-26 ページ) 参照。
- 歯当たりが不良の場合、ハイトワッシャーの厚さを増減させて調整する。

・ダイカトール PL-1 問い合わせ先

ダイカトール PL-1 (1kg、ポリ容器入り) の購入は、下記取扱会社へご依頼下さい。また、購入の際は送料着払い、代金翌月末銀行振り込み(手数料自己負担)にてお願いします。なお、納品までに約 2 週間を要しますのでご了承下さい。

品 名 ダイカトール PL-1
取 扱 会 社 大同化学工業(株)北関東営業所
電 話 番 号 0287-88-7747



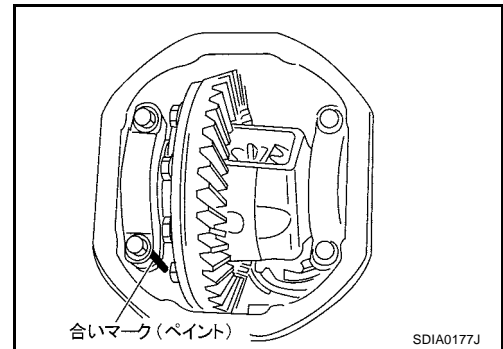
分解、組み立て

JDS0025I

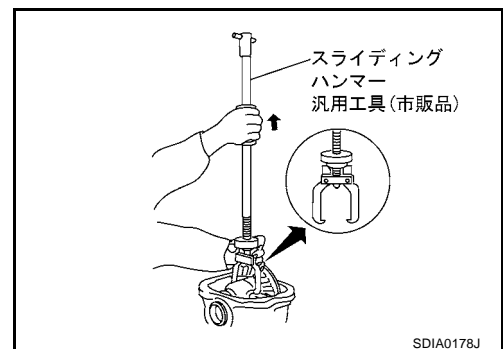
分解

ドライブギヤ及びデフケース ASSY 取り外し

1. サイドベアリングキャップとキャリアケースの合いマーク(ペイント)を確認する。合いマークがない場合はペイント等を使用し、合いマークを付ける。
注意: ベアリングキャップとキャリアケースは一体加工されているため、組み違えないこと。又、合いマークを付ける場合ペイント等を使用し、傷を付けないこと。

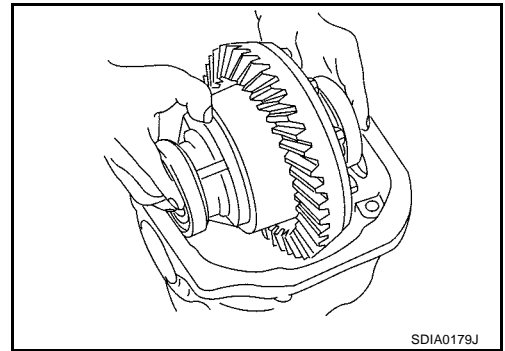


2. ベアリングキャップ取付ボルトを取り外し、ベアリングキャップをプラスチックハンマー等で軽打し、取り外す。
3. スライディングハンマー(汎用工具)を使用して、デフケース ASSY とキャリアケースを分離する。

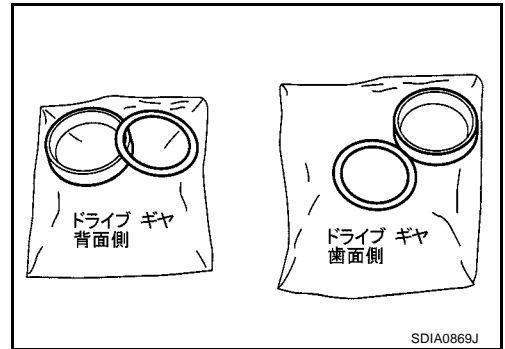


リヤファイナルドライブ ASSY

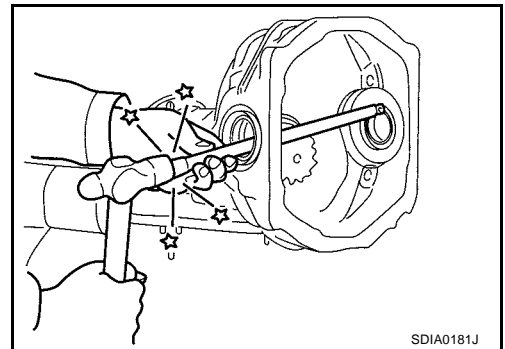
4. デフケース ASSY をサイドベアリングアウターレースとともに取り外す。



5. サイドベアリングアウターレース及びアジャストワッシャーは背面側、歯面側に分けて管理する。

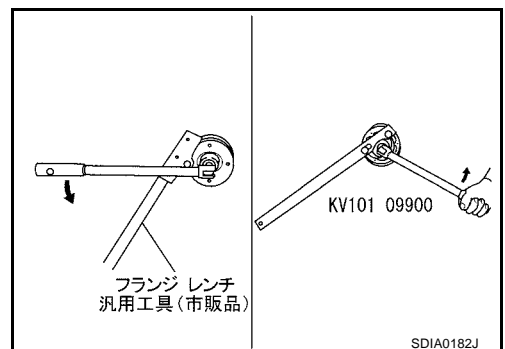


6. 黄銅棒を使用し、キャリアケースからオイルシールを取り外す。



ドライブピニオン ASSY 取り外し

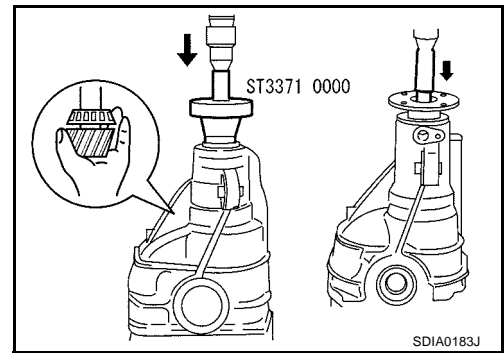
1. カムプロケットレンチ(特殊工具)又はフランジレンチ(汎用工具)を使用して、ピニオンロックナットを取り外す。



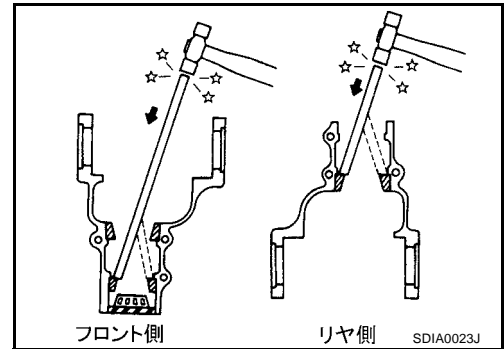
リヤファイナルドライブ ASSY

2. ドライブピニオンASSYをドリフト(特殊工具)を用いて、取り外す。

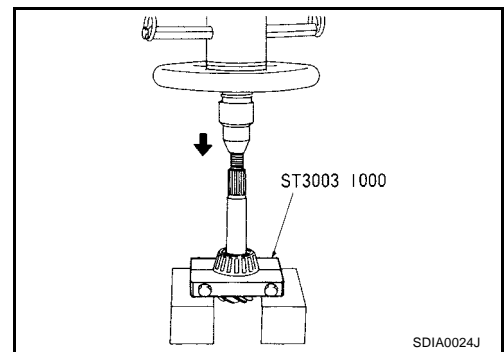
注意: ドライブピニオンを落さないこと。



3. 黄銅棒を使用して、ベアリングアウターレースを均等にたたきながら打ち抜く。
4. フロント側は、ベアリング及びオイルシールとともに打ち抜く。



5. リヤ側ピニオンベアリングをベアリングリプラー(特殊工具)を使用して、ドライブピニオンから抜き取る。



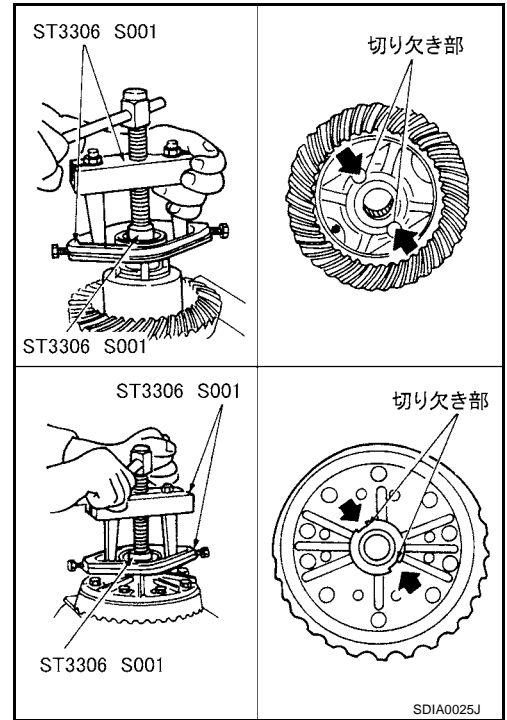
デフケース分解

1. サイドベアリングを取り外す

リヤファイナルドライブ ASSY

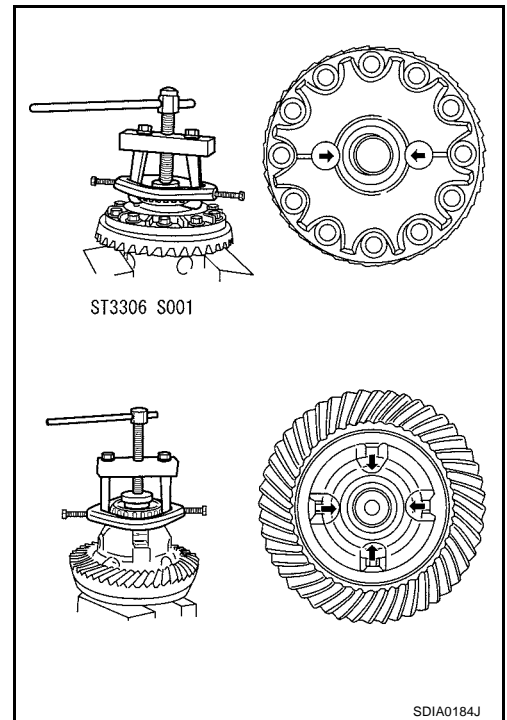
a. 2 ピニオン式

- デフケース ASSY を万力に固定し、サイドベアリングをプーラーセット (特殊工具) を使用して、デフケースから取り外す。
- 注意:**
 - 万力に固定するとき、サイドベアリング及びドライブギヤに傷を付けないよう必ず銅板等を介すること。
 - サイドベアリングは交換するとき以外は外さないこと。



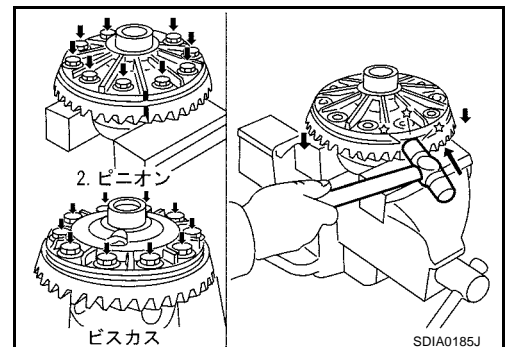
b. ビスカスカップリング式

- デフケース ASSY を万力に固定し、サイドベアリングをプーラーセット (特殊工具) を使用して、デフケースから取り外す。
- 注意:**
 - 万力に固定するとき、サイドベアリング及びドライブギヤに傷を付けないよう必ず銅板等を介すること。
 - サイドベアリングは交換するとき以外は外さないこと。



2. ドライブギヤを取り外す

- ドライブギヤ取付ボルトを取り外す。
- プラスチックハンマー等を使用し、ドライブギヤの横をたたき、ドライブギヤを取り外す。

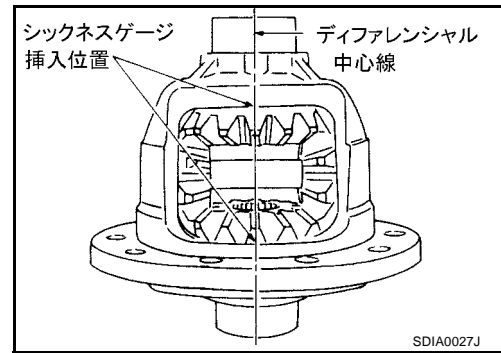


リヤファイナルドライブ ASSY

3. サイドギヤ背面クリアランスを点検する

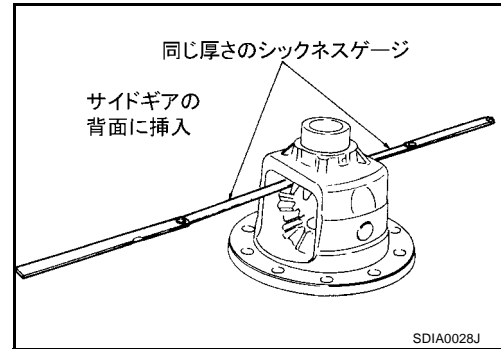
a. 2 ピニオン式

- 測定する側のサイドギヤが上になるよう、デフケースを直立させる。



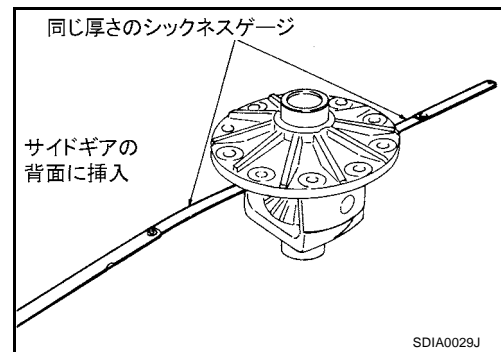
- サイドギヤの倒れを防止するため、両側から同じ厚さのシックネスゲージをサイドギヤの背面に挿入し、クリアランスを測定する。
- クリアランスの値は、サイドギヤを回転させて 3 回測定し、その平均値とする。

サイドギヤ背面クリアランス :0.20mm 以下で抵抗なくギヤが回転すること。



- デフケースの上下を置き替えて、反対側のサイドギヤ背面クリアランスを同様に測定する。

サイドギヤ背面クリアランス :0.20mm 以下で抵抗なくギヤが回転すること。



背面クリアランスが大きい場合 : スラストワッシャーを厚くする。
 背面クリアランスが小さい場合 : スラストワッシャーを薄くする。

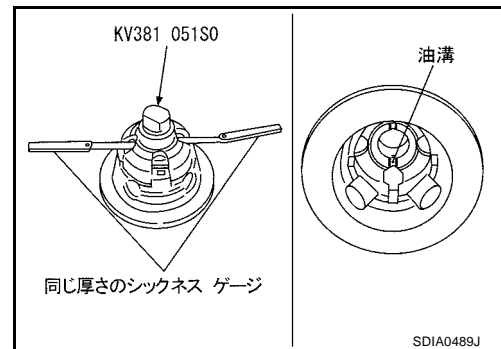
b. ビスカスカップリング式

- サイドギヤ側が上になるよう、デフケース ASSY を直立させる。
- サイドギヤの倒れを防止するため、両側から同じ厚さのシックネスゲージをサイドギヤの背面に入れクリアランスを測定する。
- クリアランスの値は、0.15mm 以下のシックネスゲージを入れ、サイドギヤが抵抗なく回転すること。

サイドギヤ背面クリアランス : 0.15mm 以下

注意: デフケースには油溝があるため、シックネスゲージはサイドギヤとスラストワッシャーの間に入れること。

- 背面クリアランスが基準値を外れる場合、ビスカス側スラストワッシャーの厚さを増減させて調整する。



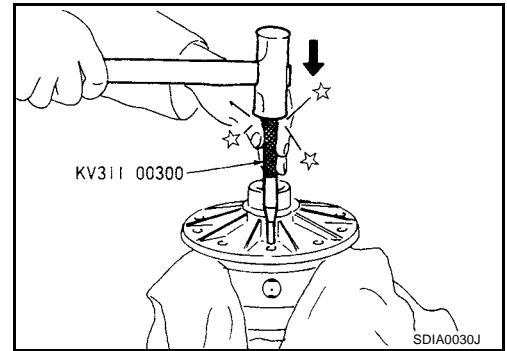
0.03mm で回転しない場合 : スラストワッシャーの厚さを薄くする。
 0.15mm で回転する場合 : スラストワッシャーの厚さを厚くする。

リヤファイナルドライブ ASSY

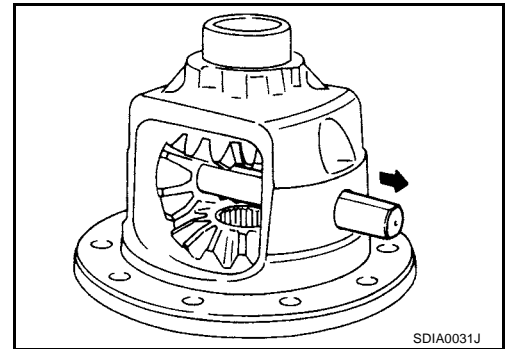
4. デフケースを分解する

a. 2 ピニオン式

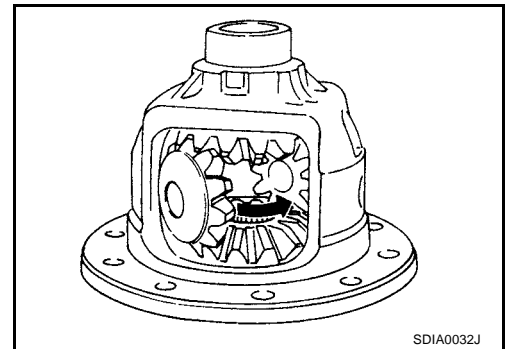
- ピニオンメートシャフトのロックピンをピンポンチ (特殊工具) を使用して、打ち抜く。



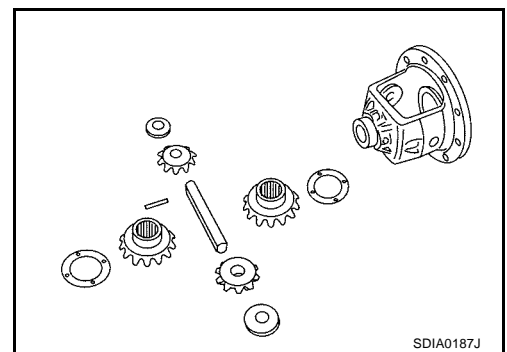
- ピニオンメートシャフトを取り外す。



- ピニオンメートギヤを回転させて、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー、サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャーをデフケースより取り外す。



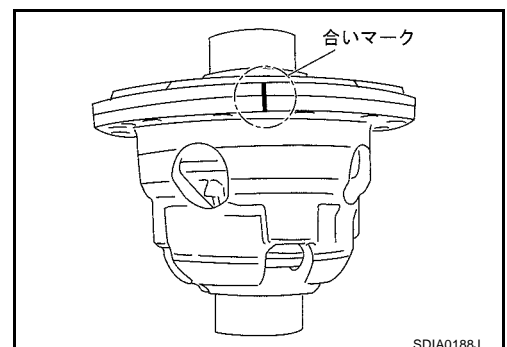
- サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャー、ピニオンメートシャフト、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー、及びデフケースを後記の「各 부품の点検」の項に従って点検する。



b. ビスカスカップリング式

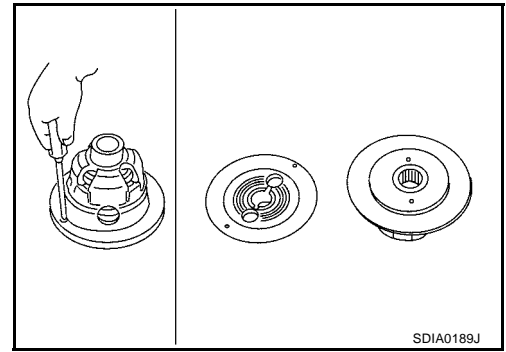
- 合いマークを確認する。
- 合いマークがない場合、合いマークを付ける。

注意： 合いマークは、ペイント等を使用し、デフケースに傷を付けないこと。

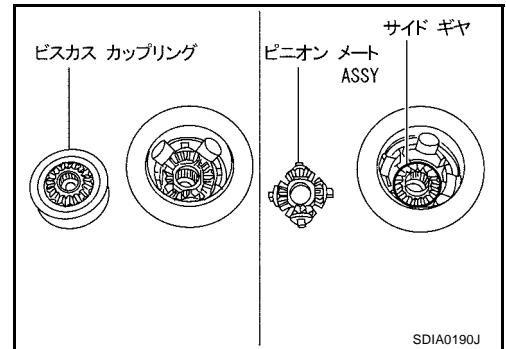


リヤファイナルドライブ ASSY

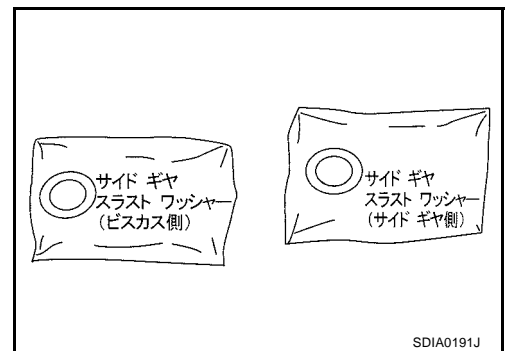
- デフケースを分離する。



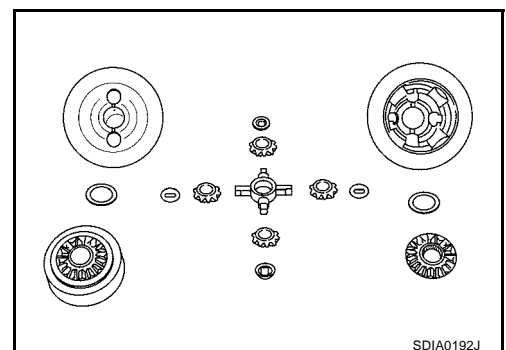
- デフケースからビスカスカップリング、ピニオンメート ASSY (ピニオンメートシャフト、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー) 及びサイドギヤを取り外す。



- サイドギヤスラストワッシャーは分けて管理する。



- サイドギヤ、サイドギヤスラストワッシャー、ピニオンメートシャフト、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー、及びデフケースを後記の「各製品の点検」の項に従って点検する。



各製品の点検

- 分解した部品は十分洗浄し、摩耗、損傷及びその他の異常がないか点検し、異常がある場合、下記に従い処置する。

項目	処 理
ハイポイドギヤ	<ul style="list-style-type: none"> • 歯当たりが異常な場合、原因を調査し、正しい歯当りに調整する。 • 歯面の摩耗が著しいもの、割れ、損傷、焼き付き等が見られる物は、ギヤセットで交換する。
ベアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 焼き付き、はく離、摩耗、錆、手回しの際の引っ掛かり、異音、ゴリ感、その他の損傷があるものは交換する。交換時は必ずインナー、アウターセットで交換する。

リヤファイナルドライブ ASSY

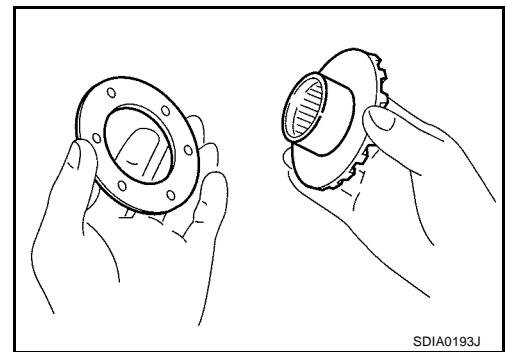
項 目	処 理
サイドギヤ及びピニオンメートギヤ	<ul style="list-style-type: none"> • 歯面に亀裂、損傷のあるものは交換する。 • スラストワッシャーの当たり面に摩耗、焼き付きのあるものは交換する。
サイドギヤスラストワッシャー及びピニオンメートスラストワッシャー	<ul style="list-style-type: none"> • 焼き付き、損傷、異常摩耗のあるものは交換する。
オイルシール	<ul style="list-style-type: none"> • 再使用不可部品のため、取り外し時には必ず交換する。 • リップ部の摩耗大、緊迫力劣化（リップ部のシール力） 損傷のあるものは必ず交換する。
デフケース	<ul style="list-style-type: none"> • しゅう動部の摩耗、亀裂のあるものは交換する。
コンパニオンフランジ	<ul style="list-style-type: none"> • オイルシールのリップ当たり面に、引っ掛かりのある摩耗（約 0.1mm）及び焼き付きのあるものは交換する。

組み立て

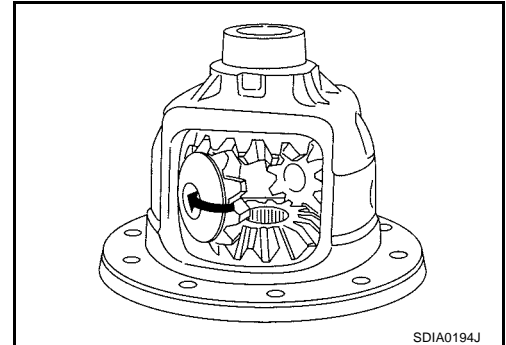
デフケース組み立て

1. 2 ピニオン式

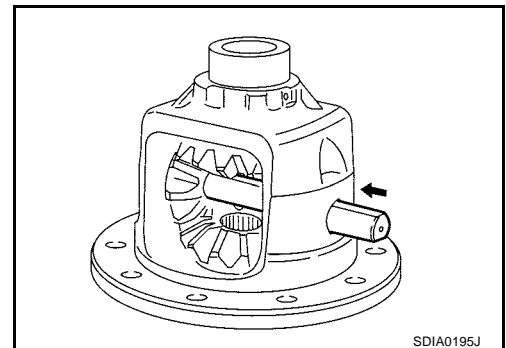
- 各ギヤ、スラストワッシャー及びデフケースのしゅう動部にギヤオイルを塗る。
- サイドギヤに分解前のスラストワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。



- デフケースに、サイドギヤ及びスラストワッシャー、ピニオンメートギヤ及びスラストワッシャーを組み付ける。
- 組み付けは、2つのピニオンメートギヤを対角位置に合わせ、回転させながら、デフケースに組み込む。

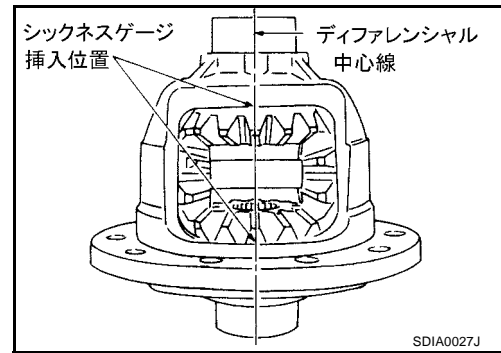


- デフケースのロックピン穴とシャフトのロックピン穴を合わせ、ピニオンメートシャフトを組み付ける。

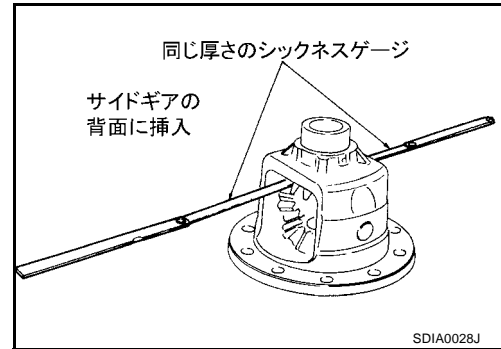


リヤファイナルドライブ ASSY

- 測定する側のサイドギヤが上になるようにデフケースを直立させる。

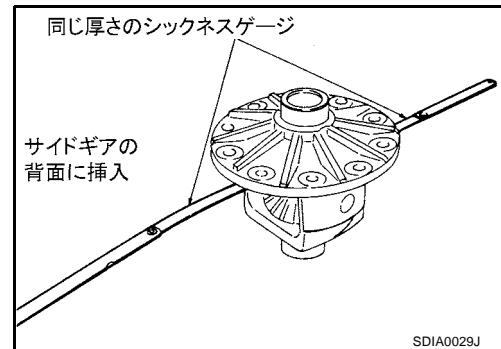


- サイドギヤの倒れを防止するため、両側から同じ厚さのシクネスゲージをサイドギヤの背面に入れ、クリアランスを測定する。
- クリアランスの値は、サイドギヤを回転させて3回測定し、その平均値とする。
- クリアランスが下記基準値となるように、サイドギヤスラストワッシャーを選択する。



サイドギヤ背面クリアランス : 0.20mm 以下で抵抗なくギヤが回転すること

- デフケースの上下を置き換えて、反対側のサイドギヤ背面クリアランスを同様に測定する。



- 背面クリアランスが基準値を外れる場合、スラストワッシャーの厚さを増減させて調整する。

背面クリアランスが大きい場合 : スラストワッシャーを厚くする。

背面クリアランスが小さい場合 : スラストワッシャーを薄くする。

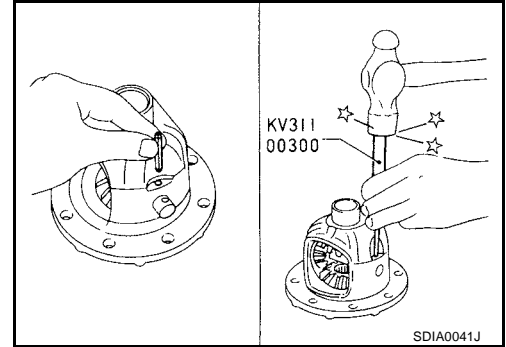
リヤファイナルドライブ ASSY

サイドギヤスラストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
0.75	38424 0C000	0.84	38424 0C003	0.93	38424 0C006
0.78	38424 0C001	0.87	38424 0C004	—	—
0.81	38424 0C002	0.90	38424 0C005	—	—

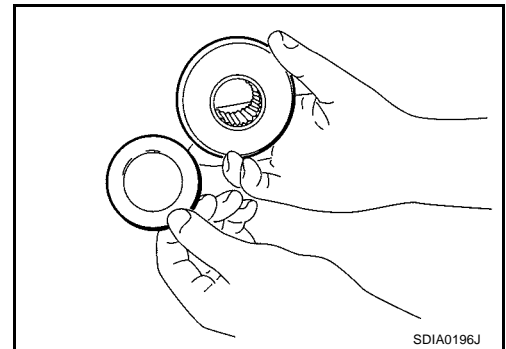
- ピンポンチ (特殊工具) を使用して、ピニオンメートシャフトにロックピンを打ち込む。

注意: ロックピンは再使用不可部品のため、必ず新品に交換すること。



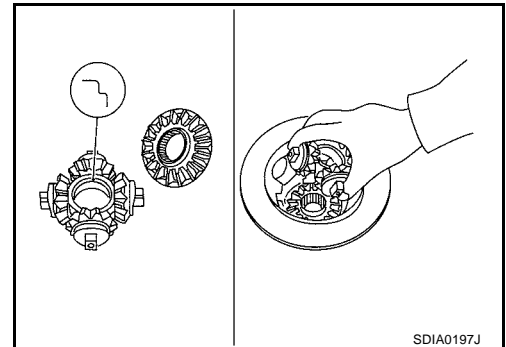
2. ビスカスカップリング式

- 各ギヤ、スラストワッシャー及びデスケースのしゅう動部にギヤオイルを塗る。
- サイドギヤに分解前のスラストワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。

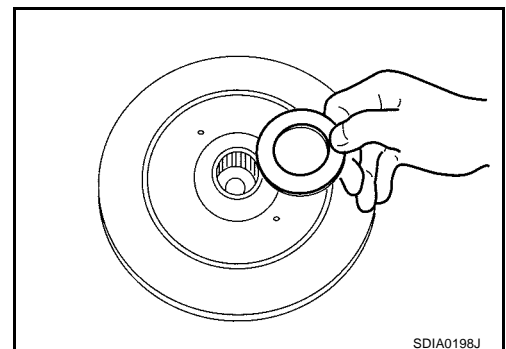


- サイドギヤ及びスラストワッシャーをデフケースに組み付ける。
- ピニオンメート ASSY (ピニオンメートシャフト、ピニオンメートギヤ、ピニオンメートスラストワッシャー) を組み付ける。

注意: ピニオンメートシャフトの溝方向 (図) をサイドギヤ側にして組み付ける。

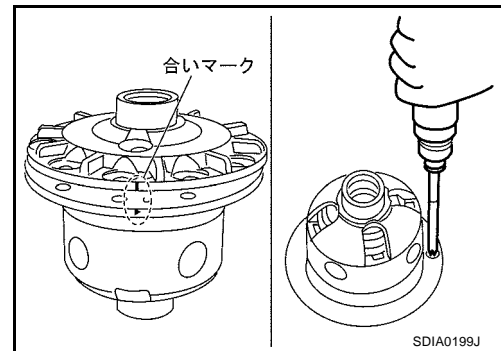


- ビスカスカップリングを組み付け、分解前のスラストワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。



リヤファイナルドライブ ASSY

- 合いマークを合わせて、デフケースを結合する。



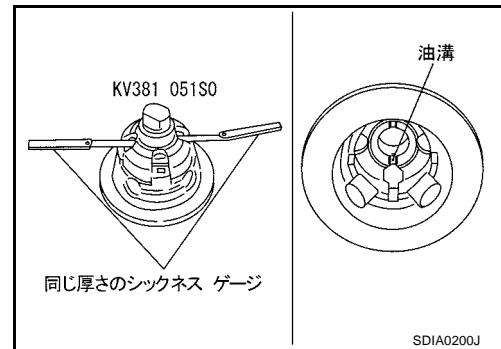
- サイドギヤ側が上になるよう、デフケース ASSY を直立させる。
- サイドギヤの倒れを防止するため、両側から同じ厚さのシックネスゲージをサイドギヤの背面に入れクリアランスを測定する。
- クリアランスの値、0.15mm 以下のシックネスゲージを入れ、サイドギヤが抵抗なく回転すること。

サイドギヤ背面クリアランス : 0.15mm 以下

注意: デフケースには油溝があるため、シックネスゲージはサイドギヤとスラストワッシャーの間に入れること。

- 背面クリアランスが基準値を外れる場合、ピスカス側スラストワッシャーの厚さを増減させて調整する。

0.03mm で回転しない場合 : スラストワッシャーの厚さを薄くする。
0.15mm で回転する場合 : スラストワッシャーの厚さを厚くする。

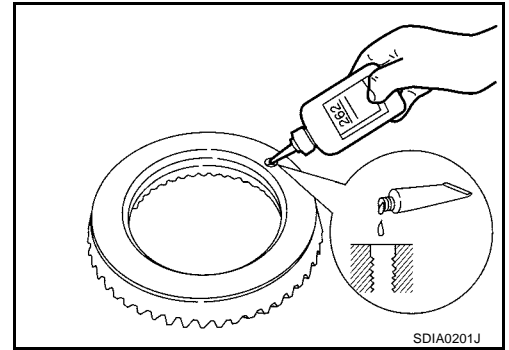


リヤファイナルドライブ ASSY

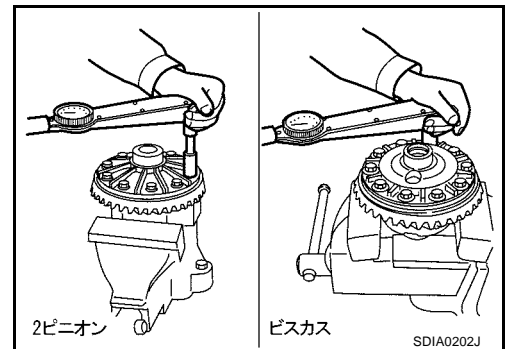
サイドギヤスラストワッシャー

サイドギヤクリアランス測定値 (mm)	厚さ (mm)	部品番号	サイドギヤクリアランス測定値 (mm)	厚さ (mm)	部品番号
0.785 ~ 0.815	0.80	38424 40F60	1.145 ~ 1.175	1.16	38424 40F72
0.815 ~ 0.845	0.83	38424 40F61	1.175 ~ 1.205	1.19	38424 40F73
0.845 ~ 0.875	0.86	38424 40F62	1.205 ~ 1.235	1.22	38424 40F74
0.875 ~ 0.905	0.89	38424 40F63	1.235 ~ 1.265	1.25	38424 40F75
0.905 ~ 0.935	0.92	38424 40F64	1.265 ~ 1.295	1.28	38424 40F76
0.935 ~ 0.965	0.95	38424 40F65	1.295 ~ 1.325	1.31	38424 40F77
0.965 ~ 0.995	0.98	38424 40F66	1.325 ~ 1.355	1.34	38424 40F78
0.995 ~ 1.025	1.01	38424 40F67	1.355 ~ 1.385	1.37	38424 40F79
1.025 ~ 1.055	1.04	38424 40F68	1.385 ~ 1.415	1.40	38424 40F80
1.055 ~ 1.085	1.07	38424 40F69	1.415 ~ 1.445	1.43	38424 40F81
1.085 ~ 1.115	1.10	38424 40F70	1.445 ~ 1.475	1.46	38424 40F82
1.115 ~ 1.145	1.13	38424 40F71	1.475 ~ 1.505	1.49	38424 40F83

- ドライブギヤのネジ部にロックタイトを1～2滴塗る。

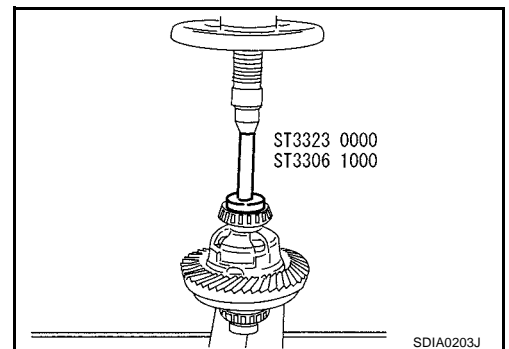


- ドライブギヤとデフケースを結合する。
- ボルト座面に防錆油を塗り、対角線に均等に規定トルクで締め付け後 31～36°の角度締めを行う。



- ドリフト(特殊工具)を使用して、サイドベアリングをデフケースに圧入する。

参考：ベアリング圧入始めはハンマーで軽打し、デフケースとベアリングを直角にする。その後プレスにて圧入すること。



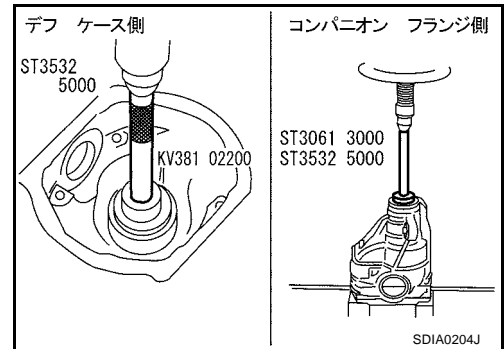
リヤファイナルドライブ ASSY

ハイポイドギヤ歯当たり及びバックラッシュ点検

ピニオンベアリングアウターレース取り付け

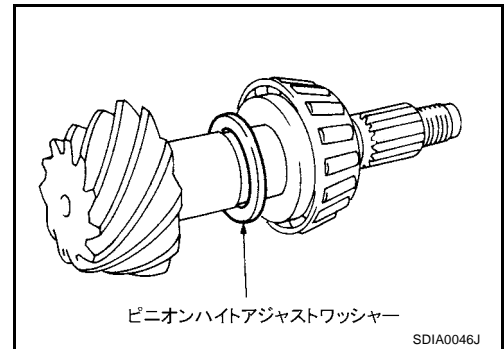
- ドリフト (特殊工具) を使用して、ピニオンベアリングアウターレースをキャリアケースに取り付ける。

注意: アウターレース圧入始めはハンマーで軽打し、キャリアケースとアウターレースを直角にする。その後プレスを用いて圧入すること。



ピニオンハイトアジャストワッシャー取り付け (仮り組み付け)

- ドライブピニオンに分解前のハイトワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。



ギヤセット交換時のワッシャー選択

- ハイポイドギヤセットを交換した場合、新旧ドライブピニオンの加工誤差修正を行い、ワッシャーを選択する。
- 加工誤差修正

$$T = T_0 + (t_1 - t_2)$$

T : 組み付けるべきワッシャーの厚さ

T₀ : 取り外し時ワッシャーの厚さ

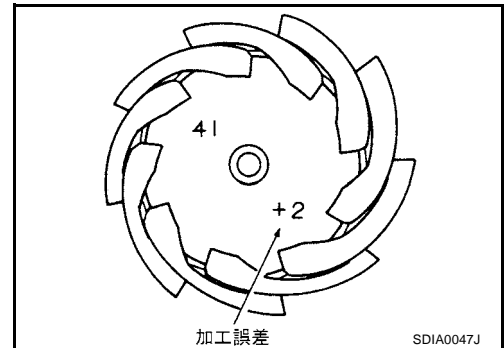
t₁ : 旧ドライブピニオンのヘッド数字
(加工誤差 1/100mm を 100 倍して表示してある)

t₂ : 新ドライブピニオンのヘッド数字
(加工誤差 1/100 を 100 倍して表示してある)

[計算例]

T₀ = 3.21、t₁ = + 2、t₂ = - 1 とき

$$T = 3.21 + \{(2 \times 0.01) - (-1 \times 0.01)\} = 3.24$$



- ドライブピニオンに仮のワッシャーを取り付ける。

リヤファイナルドライブ ASSY

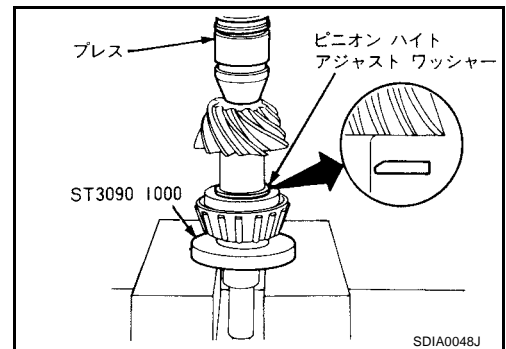
ピニオンハイトアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
3.05	38154 0C000	3.29	38154 0C008
3.08	38154 0C001	3.32	38154 0C009
3.11	38154 0C002	3.35	38154 0C010
3.14	38154 0C003	3.38	38154 0C011
3.17	38154 0C004	3.41	38154 0C012
3.20	38154 0C005	3.44	38154 0C013
3.23	38154 0C006	3.47	38154 0C014
3.26	38154 0C007	3.50	38154 0C015

ピニオンベアリング取り付け

- ドリフト (特殊工具) を使用して、ピニオンベアリングを取り付ける。

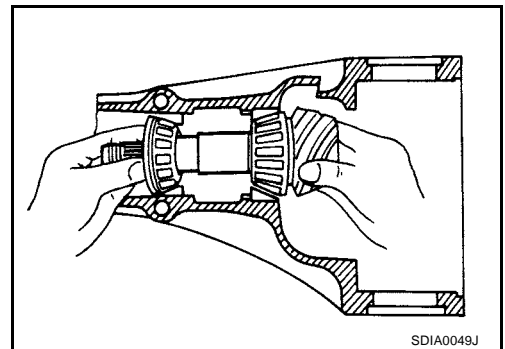
注意: ワッシャーの向きを間違えないこと。



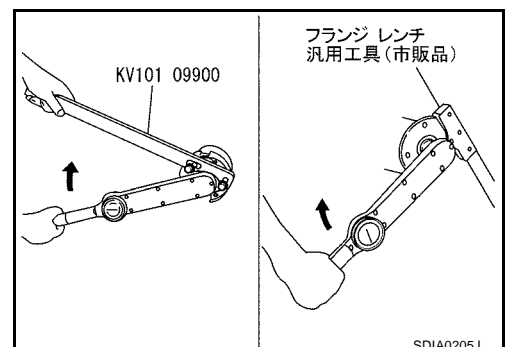
ドライブピニオン及びピニオンベアリング取り付け

- ベアリング部にギヤオイルを塗布する。
- ドライブピニオン、ピニオンベアリング (フロント側) をキャリアケースに組み付ける。

注意: コラプシブルスペーサーは組み付けないこと。



- オイルシールは取り付けず、コンパニオンフランジを取り付ける。
- ドライブピニオンのネジ部及びナット座面に防錆油を塗り、ナット (仮) を取り付け。

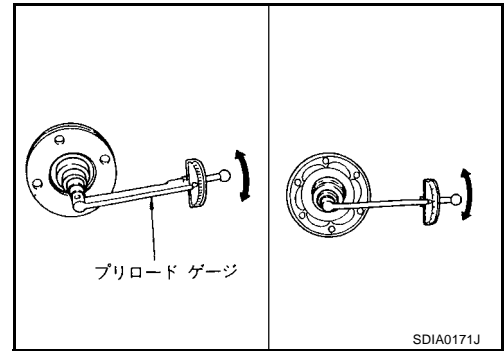


リヤファイナルドライブ ASSY

- ピニオンナットを基準プリロードになるまで締め付ける。

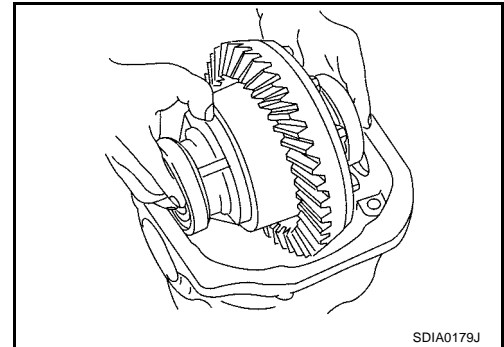
ピニオンベアリングプリロード基準値 : 2.55 ~ 3.04N・m
(オイルシールなし) { 0.26 ~ 0.31Kg・m }

注意: ピニオンナットは、スペーサーが入っていないため、プリロードを測定しながら 5° ~ 10° ずつ締め込み、締め過ぎないこと。



デフケース取り付け

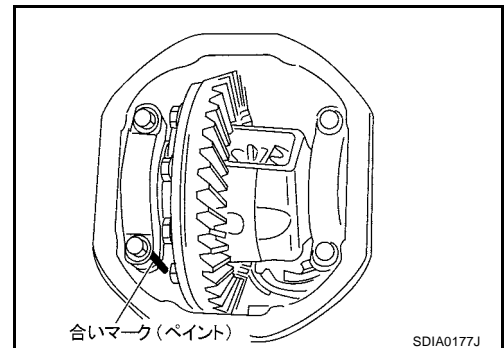
1. ベアリング部にギヤオイルを塗る。
2. デフケース ASSY をサイドベアリングアウターレースとともに、キャリアケースに組み付ける。



3. ドライブギヤ歯面側及び背面側に分解前のアジャストワッシャーを組み付けるか、分解前と同じ厚さのワッシャーを組み付ける。

注意: ワッシャーは歯面側と背面側を組み間違えないこと。

4. 合いマークを合わせ、ベアリングキャップを組み付け、ボルトを取り付け、規定トルクで締め付ける。



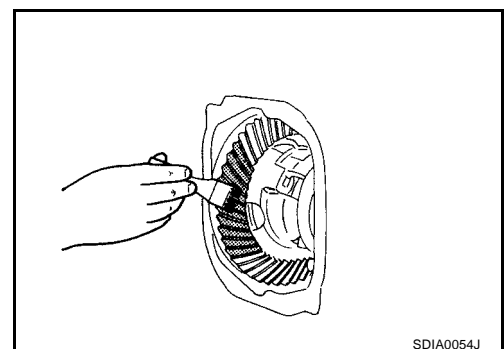
歯当たり点検

1. ドライブギヤ歯面、両面にダイカトール PL-1 を薄く塗り、ドライブギヤ及びドライブピニオンを回転させ、歯当りを点検する。

・問い合わせ先

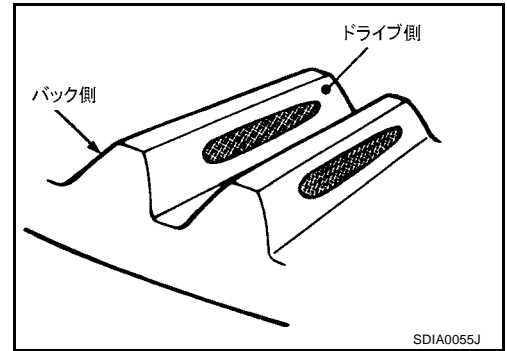
ダイカトール PL-1 (1kg、ポリ容器入り) の購入は、下記取扱会社へご依頼下さい。また、購入の際は送料着払い、代金翌月末銀行振り込み (手数料自己負担) にてお願いします。なお、納品までに約 2 週間を要しますのでご了承下さい。

品 名 ダイカトール PL-1
取 扱 会 社 大同化学工業 (株) 北関東営業所
電 話 番 号 0287-88-7747



リヤファイナルドライブ ASSY

2. 歯当たりの点検は、ドライブギヤの4箇所で行い、ドライブ側(加速側), バック側(減速側)、両方点検する。

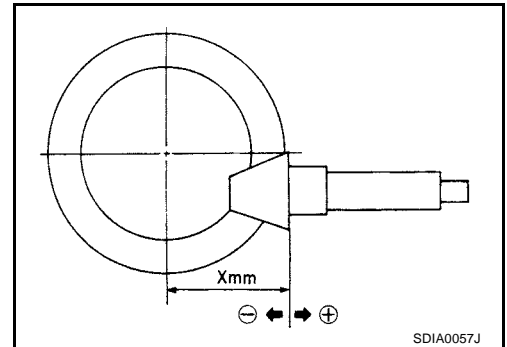


歯当たり判定目安

ファインピッチ (ドライブギヤ歯数45枚以上)		ピニオンハイトアジャスト ワッシャー選択値(mm)	調整の要 不 要	発生すると思われる現象
ドライブ側	バック側			
ヒール側	トール側	トール側	ヒール側	
		+0.09	要	全車速域のノイズ発生及び スコーリング音発生原因
		+0.06	↑	加速時のノイズ発生原因
		+0.03	不要	
		0	↑	
		-0.03	↑	
		-0.06	要	定速時及び減速時のノイズ 発生原因
		-0.09	↑	全車速域のノイズ発生及び スコーリング音発生原因

SDIA0207J

3. 歯当たりが不良の場合、ピニオンハイトアジャストワッシャーの厚さを増減させて、ピニオンハイト(図 Xmm)を調整する。

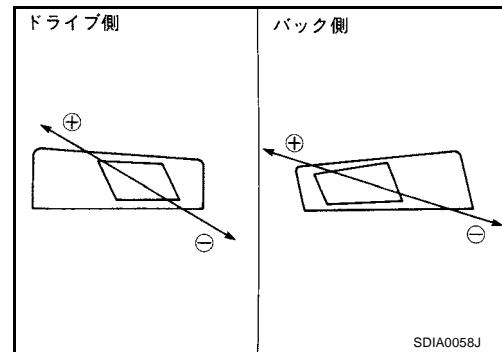


リヤファイナルドライブ ASSY

ピニオンハイトアジャストワッシャー

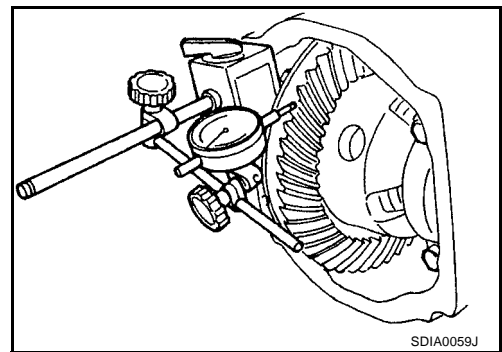
厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
3.05	38154 0C000	3.29	38154 0C008
3.08	38154 0C001	3.32	38154 0C009
3.11	38154 0C002	3.35	38154 0C010
3.14	38154 0C003	3.38	38154 0C011
3.17	38154 0C004	3.41	38154 0C012
3.20	38154 0C005	3.44	38154 0C013
3.23	38154 0C006	3.47	38154 0C014
3.26	38154 0C007	3.50	38154 0C015

バックラッシュ点検



1. ダイヤルゲージをドライブギヤのフェース部にセットして、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ基準値 : 0.10 ~ 0.15mm



2. バックラッシュが基準値を外れる場合、両方のサイドベアリングアジャストワッシャーの厚さを移動させて調整する。

バックラッシュが大きい場合 : ドライブギヤ背面側ワッシャーを増し、ドライブギヤ歯面側ワッシャーを減らす。

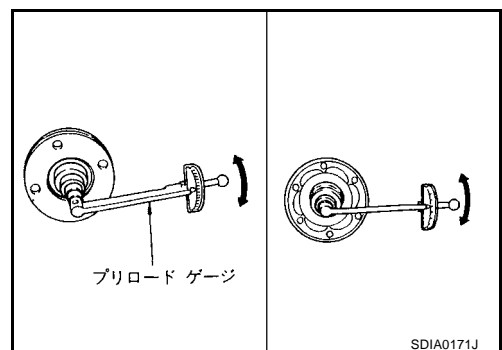
バックラッシュが小さい場合 : ドライブギヤ背面側ワッシャーを減らし、ドライブギヤ歯面側ワッシャーを増す。

3. コンパニオンフランジを 20 回以上回転させた後、プリロードゲージを使用して、トータルプリロードを測定する。

サイドベアリングプリロード基準値 : 0.20 ~ 0.52N·m{ 0.02 ~ 0.053kg·m }

ドライブピニオンベアリングプリロード基準値 : 2.65 ~ 3.23N·m{ 0.27 ~ 0.32kg·m }

トータルプリロード基準値 : 2.85 ~ 3.75N·m{ 0.29 ~ 0.383kg·m }



4. プリロードが基準値を外れる場合、サイドベアリングアジャストワッシャーの厚さを両方同量ずつ増減させて調整する。

リヤファイナルドライブ ASSY

注意：ワッシャーは必ず同量ずつ増減のこと。

プリロードが大きい場合 : ワッシャーの厚さを薄くする。

プリロードが小さい場合 : ワッシャーの厚さを薄くする。

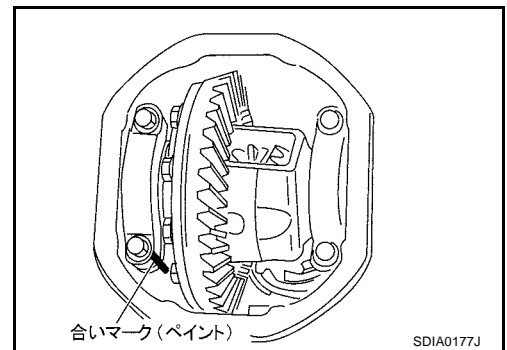
サイドベアリングアジャストワッシャー

厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
2.00	38453 N3100	2.25	38453 N3105	2.50	38453 N3110
2.05	38453 N3101	2.30	38453 N3106	2.55	38453 N3111
2.10	38453 N3102	2.35	38453 N3107	2.60	38453 N3112
2.15	38453 N3103	2.40	38453 N3108	2.65	38453 N3113
2.20	38453 N3104	2.45	38453 N3109	—	—

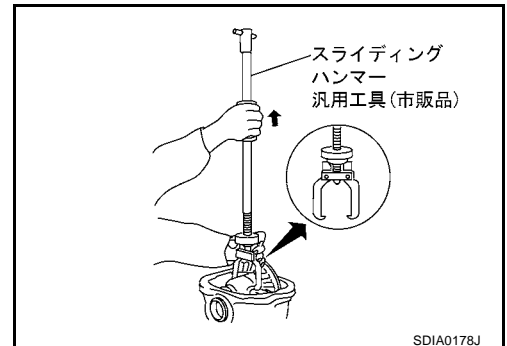
ドライブピニオンプリロード調整

デフケース ASSY 取り外し

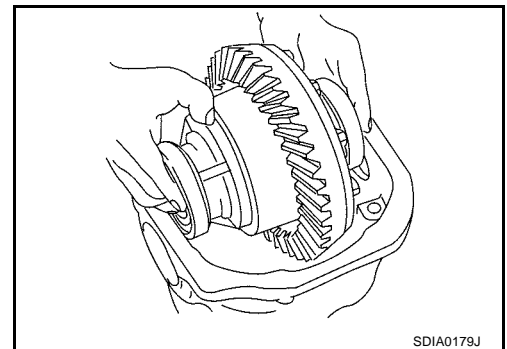
1. ベアリングキャップ取付ボルトを取り外し、キャップをプラスチックハンマーで軽打し、取り外す。



2. スライディングハンマー(汎用工具)を使用して、デフケース ASSY とキャリアケースを分離する。

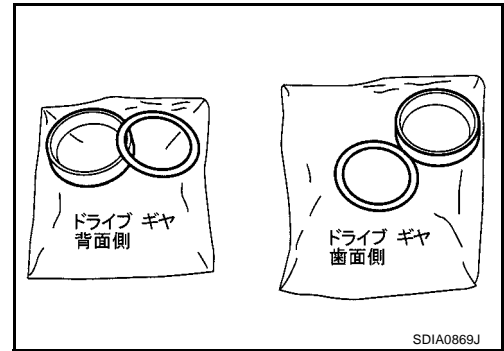


3. デフケース ASSY をサイドベアリングアウターレースとともに取り外す。



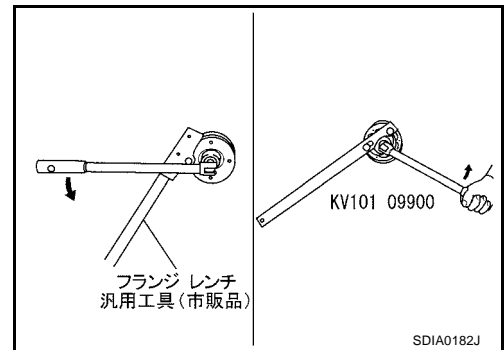
リヤファイナルドライブ ASSY

4. ベアリングアウターレース及びアジャストワッシャーを背面側、歯面側に分けて管理する。



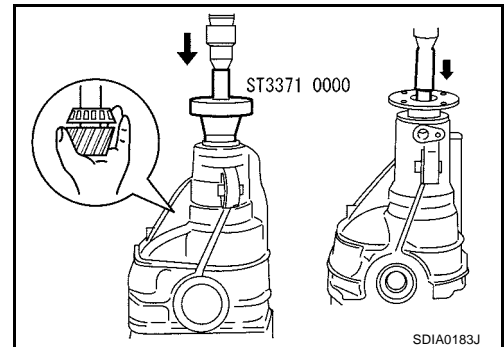
ドライブピニオン ASSY 取り外し

1. カムプロケットレンチ (特殊工具) 又はフランジレンチ (汎用工具) を使用して、ピニオンロックナットを取り外す。



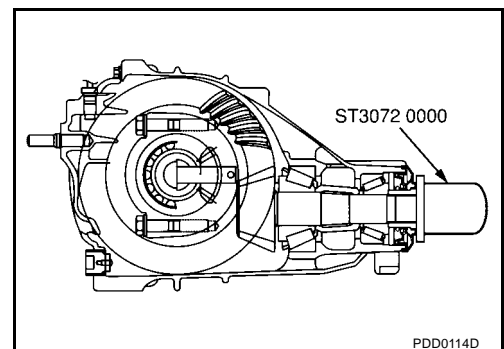
2. ドライブピニオン ASSY をドリフト (特殊工具) を使用して、取り外す。

注意: ドライブピニオンを落とさないこと。



ドライブピニオン ASSY 取り付け

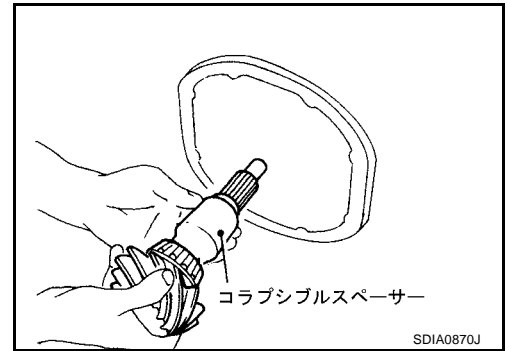
1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリース No. 2 を塗布し、ドリフト (特殊工具) を用いてオイルシールを取り付ける。
2. ピニオンベアリング (フロント側) にギヤオイルを塗布し、キャリアケースに組み付ける。



リヤファイナルドライブ ASSY

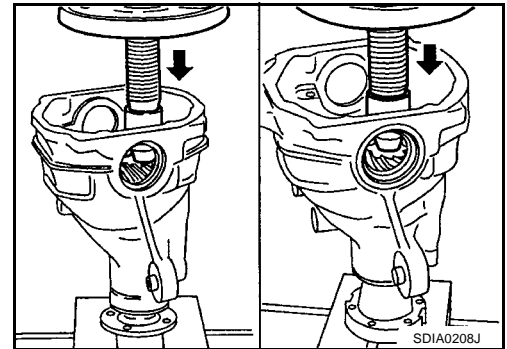
3. ドライブピニオンにコラプシブルスペーサーを組み付ける。

注意：コラプシブルスペーサーは再使用不可部品のため、取り付け時は新品に交換すること。



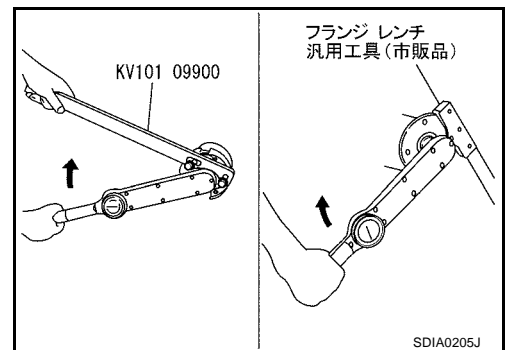
4. ベアリング部にギヤオイルを塗る。

5. ドライブピニオン ASSY をコンパニオンフランジとともにキャリアケースに取り付ける。



6. ピニオンナットの座面及びドライブピニオンのネジ部に防錆油を塗り、ナット（仮）を取り付ける。

7. コンパニオンフランジを 20 回以上回転させ、ベアリングをなじませる。



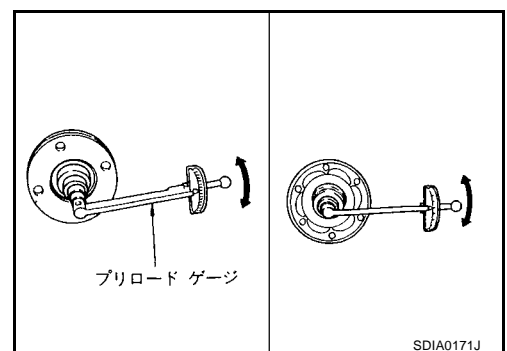
8. プリロードゲージを使用して、プリロードを測定しながらナットを規定トルクの範囲内で規定プリロードとなるまで締め付ける。

ドライブピニオン締付トルク :147 ~ 323N・m{ 15 ~ 33 kg・m }

ドライブピニオンベアリングプリロード基準値 :2.65 ~ 3.23 N・m{ 0.27 ~ 0.32kg・m }

プリロードが大きい場合 : コラプシブル スペーサーを交換する。

プリロードが小さい場合 : ナットを締め込む。



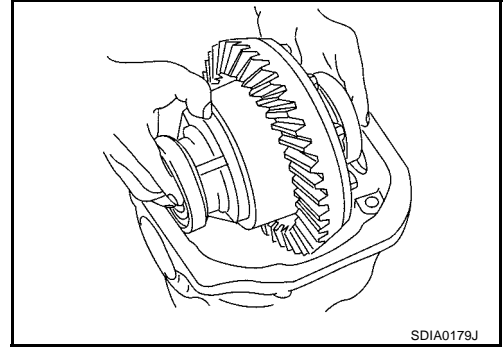
注意：• プリロードは加わりだすと急激に増大するので、ピニオンナットを 5 ~ 10° 締め込むごとにプリロードを確認する。

• ピニオンナットは再使用不可部品のため、必ず新品に交換する。

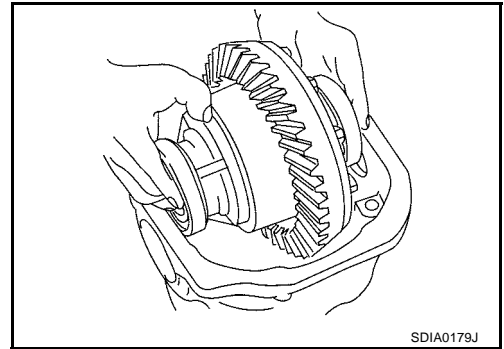
リヤファイナルドライブ ASSY

デフケース ASSY 取り付け

1. ベアリング部にギヤオイルを塗る。
2. デフケース ASSY をサイドベアリングアウターレースとともに、キャリアケースに組み付ける。



3. 選択したアジャストワッシャーをキャリアケースに組み付ける。
注意: ワッシャーは歯面側と背面側を組み間違えないこと。
4. 組み付けは、プラスチックハンマー等を使用し、スペーサーの円周面を均等にたたきながら組み付ける。
5. 合いマークを合わせ、ベアリングキャップを組み付け、ボルトを規定トルクで締め付ける。



組み立て後の点検

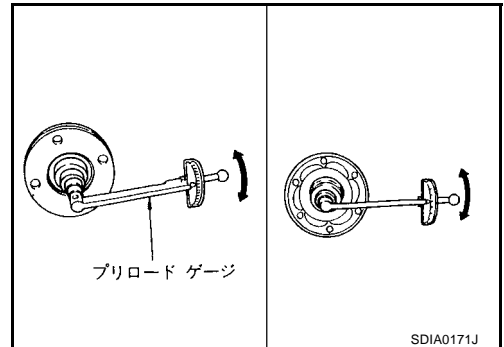
トータルプリロード点検

1. コンパニオンフランジを 20 回以上回転させ、プリロードゲージを使用してトータルプリロードを測定する。

サイドベアリングプリロード基準値 : 0.20 ~ 0.52N·m { 0.02 ~ 0.053kg·m }

ドライブピニオンベアリングプリロード基準値 : 2.65 ~ 3.23N·m { 0.27 ~ 0.32kg·m }

トータルプリロード基準値 : 2.85 ~ 3.75N·m { 0.29 ~ 0.383kg·m }



2. プリロードが基準値を外れる場合、サイドベアリングアジャストワッシャーの厚さを両方向量ずつ増減させて調整する。

プリロードが大きい場合 : コラプシブルスペーサーを交換する。

プリロードが小さい場合 : ピニオンナットを締め込む。

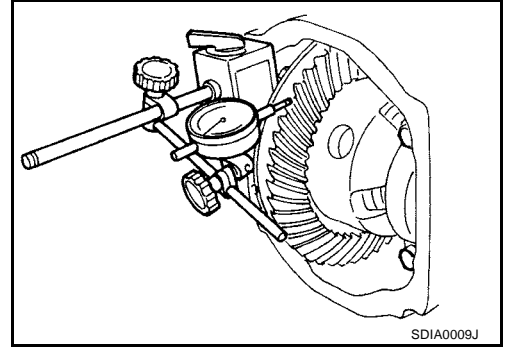
リヤファイナルドライブ ASSY

ハイポイドギヤ、バックラッシュ点検

1. ダイヤルゲージをドライブギヤのフェース部にセットし、バックラッシュを測定する。

バックラッシュ基準値 : 0.10 ~ 0.15mm

2. バックラッシュが基準値を外れる場合、サイドベアリングワッシャーの厚さを移動させて調整する。



バックラッシュが大きい場合 : ドライブギヤ背面側ワッシャーを増し、ドライブギヤ背面側ワッシャーを減らす。

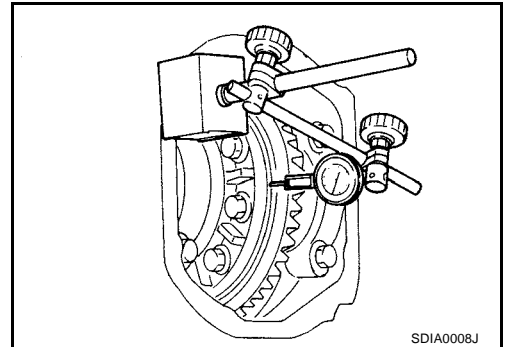
バックラッシュが小さい場合 : ドライブギヤ背面側ワッシャーを減らし、ドライブギヤ背面側ワッシャーを増す。

ドライブギヤ背面振れ点検

1. テストインジケータをドライブギヤの背面にセットし、ドライブギヤを回転させて、振れを測定する。

振れ限度値 : 0.05mm 以下

2. 振れが限度値を外れる場合、ドライブギヤの組付状態(ドライブギヤとデフケースの間の異物噛み込み及びデフケースの変形、ドライブギヤの変形等)を点検する。
3. ドライブギヤの変形はハイポイドギヤ ASSY で、デフケースの変形はデフケースを交換する。



コンパニオンフランジ振れ点検

ダイヤルゲージを使用し面振れ、インロー振れを測定する。

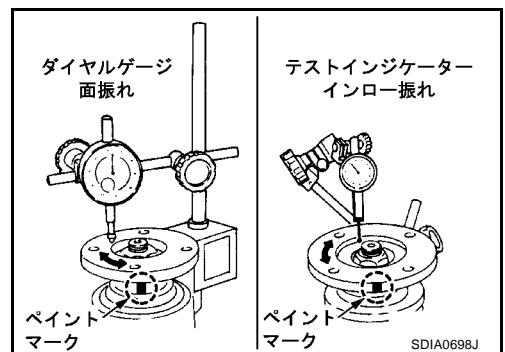
1. 面振れの最大値(車両に対して後方に傾く最大値)にペイントでマークする。2WD 車 (VQ25DD 搭載車) のみ

面振れ限度値 : 0.08mm 以下

2. インロー振れの最大値(回転中心に対して外側に振れる最大値)にペイントでマークする。

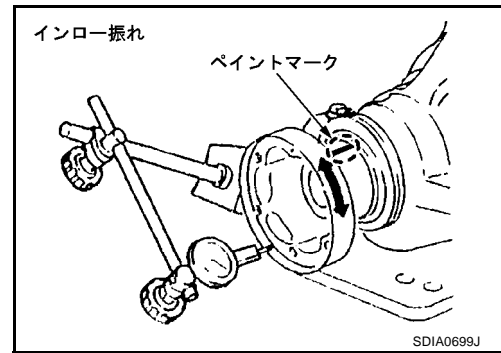
インロー振れ限度値 : 0.08mm 以下

- 注意:**
1. 測定面に錆がある場合、良く落としてから測定する。
 2. ペイントマークは古いマークを落としてからマークする。



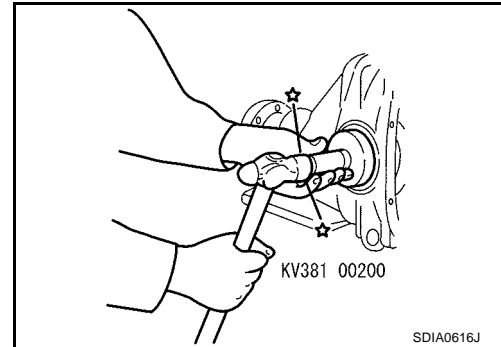
リヤファイナルドライブ ASSY

3. 振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジとドライブピニオンの位相を 90° ずつずらし、振れの最小値を探す。
4. 位相を変えても振れが限度値を外れる場合、コンパニオンフランジを交換する。
5. コンパニオンフランジを交換しても振れが限度値を外れる場合、ピニオンベアリングとドライブピニオンの組付不良及びピニオンベアリングの不良が考えられる。



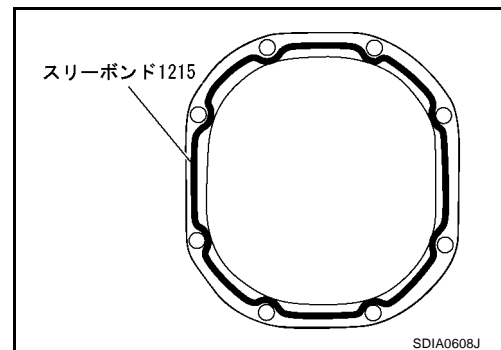
サイドオイルシール取り付け

1. オイルシールのリップ部にニッサン MP スペシャルグリス No.2 を塗る。
2. ドリフト(特殊工具)を使用して、オイルシールをキャリアケースに取り付ける。



キャリアケースカバー取り付け

1. キャリカバーを取り付ける。
 - 図のように、キャリアカバー側にシール剤(スリーボンド 1215)を塗布し、キャリアケースに取り付ける。
 - 注意:** • シール剤(スリーボンド 1215)の塗布面に水、油、切粉等、異物の付着がないこと。
 - キャリカバーの組み付けはシール剤(スリーボンド 1215)塗布開始から 5 分以内に行うこと。
2. フィラープラグを取り付ける。
 - ドレーンプラグ及びフィラープラグにシール剤(スリーボンド 1215)を塗布し、キャリアケースカバーに取り付ける。



参考: ギヤオイルの注入及び注入量は、「オイル 交換」[「注入」\(RFD-6 ページ\)](#) を参照のこと。

サービスデータ

サービスデータ ドライブギヤ振れ

PF0:00030

JDS0025J

A

型式	R200<強化型>, R200V<強化型>
ドライブギヤ振れ量	0.05mm 以下

サイドギヤクリアランス調整

JDS0025K

B

型式	R200<強化型>	R200V<強化型>
サイドギヤ背面クリアランス	0.20mm 以下	0.15mm 以下

サイドギヤ背面クリアランス調整用スラストワッシャー

C

型式	R200<強化型>		R200V<強化型>	
	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
スラストワッシャー	0.75	38424 0C000	0.80	38424 40F60
	0.78	38424 0C001	0.83	38424 40F61
	0.81	38424 0C002	0.86	38424 40F62
	0.84	38424 0C003	0.89	38424 40F63
	0.87	38424 0C004	0.92	38424 40F64
	0.90	38424 0C005	0.95	38424 40F65
	0.93	38424 0C006	0.98	38424 40F66
			1.01	38424 40F67
			1.04	38424 40F68
			1.07	38424 40F69
			1.10	38424 40F70
			1.13	38424 40F71
			1.16	38424 40F72
			1.19	38424 40F73
			1.22	38424 40F74
			1.25	38424 40F75
			1.28	38424 40F76
			1.31	38424 40F77
			1.34	38424 40F78
			1.37	38424 40F79
		1.40	38424 40F80	
		1.43	38424 40F81	
		1.46	38424 40F82	
		1.49	38424 40F83	

RFD

E

F

G

H

I

J

K

L

サービスデータ

ドライブピニオンハイト調整

JDS0025L

ドライブピニオンハイト調整用アジャストワッシャー

型式	R200<強化型>, R200V<強化型>			
	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
アジャストワッシャー	3.05	38154 0C000	3.35	38154 0C010
	3.08	38154 0C001	3.38	38154 0C011
	3.11	38154 0C002	3.41	38154 0C012
	3.14	38154 0C003	3.44	38154 0C013
	3.17	38154 0C004	3.47	38154 0C014
	3.20	38154 0C005	3.50	38154 0C015
	3.23	38154 0C006		
	3.26	38154 0C007		
	3.29	38154 0C008		
	3.32	38154 0C009		

ドライブピニオンプリロード調整

JDS0025M

型式	R200<強化型>, R200V<強化型>
ドライブピニオンプリロード	2.65 ~ 3.23N·m { 0.27 ~ 0.32kg·m }

サイドベアリングプリロード調整

JDS0025N

型式	R200<強化型>, R200V<強化型>
サイドベアリングプリロード	0.20 ~ 0.52N·m { 0.02 ~ 0.053kg·m }

サイドベアリングプリロード調整用アジャストワッシャー

型式	R200<強化型>, R200V<強化型>			
	厚さ (mm)	部品番号	厚さ (mm)	部品番号
ワッシャー	2.00	38453 N3100	2.35	38453 N3107
	2.05	38453 N3101	2.40	38453 N3108
	2.10	38453 N3102	2.45	38453 N3109
	2.15	38453 N3103	2.50	38453 N3110
	2.20	38453 N3104	2.55	38453 N3111
	2.25	38453 N3105	2.60	38453 N3112
	2.30	38453 N3106	2.65	38453 N3113

トータルプリロード調整

JDS0025O

型式	R200<強化型>, R200V<強化型>
トータルプリロードオイルシール取り付け時	2.85 ~ 3.75N·m { 0.29 ~ 0.383kg·m }
リングギヤバックラッシュ	0.10 ~ 0.15mm